

2024(令和 6)年の光化学スモッグの発生状況



はじめに

都は、大気汚染防止法第23条及び都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第146条から第148条までの規定により、光化学オキシダントによる大気の汚染が人の健康に影響を及ぼすおそれがある事態が発生したときは、その事態を一般に周知するとともに、ばい煙を排出する者に対しその排出量の減少措置を勧告し、自動車等を使用する者に対し自動車の運行の制限について協力を求めるなど大気汚染緊急時の措置を実施しています。

都では、光化学スモッグによる被害の防止を図るため、オキシダントに係る緊急時における知事の措置及びその他関連する必要な事項を「東京都大気汚染緊急時対策実施要綱（オキシダント）」に定め、オキシダント濃度が緊急時の発令基準以上となった場合、光化学スモッグ注意報等を発令しています。

この報告書は、2024年4月から同年10月までにおける光化学スモッグの発生状況を取りまとめたものです。

2025年1月

東京都環境局環境改善部

目 次

I	光化学スモッグの発生状況	
1	発令状況の概要	1
(1)	光化学スモッグ緊急時発令体制	1
(2)	光化学スモッグの発令状況の概要	2
2	光化学スモッグの発令状況	4
(1)	光化学スモッグ注意報	4
(2)	光化学スモッグ学校情報	6
(3)	光化学スモッグ予報・警報	6
3	光化学スモッグによると思われる被害届出状況	7
4	気象概況及び注意報発令日の気象状況	7
(1)	気象概況	7
(2)	注意報発令日の気象状況	9
(3)	オキシダント濃度の最高値、最高気温	24
II	緊急時の対応	
1	光化学スモッグ常時監視体制	25
(1)	大気汚染常時測定局	25
(2)	情報の入手	25
2	緊急時の措置と連絡体制	26
3	都民への情報の周知	26
(1)	テレホンサービスによる情報の提供	26
(2)	区市町村からの情報提供	26
(3)	インターネットによる情報提供	26
	・大気汚染緊急時（オキシダント）の基準及び措置一覧表	27
	・光化学スモッグの影響によると思われる被害発生時の対応	28
	（参考）光化学スモッグについて	29

参考資料

1	2024年の状況	
(1)	2024年光化学スモッグ緊急時措置等明細	35
(2)	オキシダント濃度0.12ppm以上の測定局別・日別時間数	40
(3)	各月の気象概況	41
2	年別推移	
(1)	注意報・学校情報の発令日数及び被害状況	42
(2)	予報の月別発令日数	43
(3)	注意報（警報）の月別発令日数	44
(4)	注意報の地域別・月別発令日数	45
(5)	警報の発令状況	45
(6)	学校情報の月別提供日数	46

(7) 学校情報の地域別・月別提供日数	47
(8) 光化学スモッグ注意報の連続発令期間（3日間以上）	48
(9) オキシダント最高濃度の経年変化	49
(10) オキシダント濃度0.12ppm以上の測定点別延べ時間数	50
(11) 光化学スモッグによると思われる被害届出数（年別・発令地域別）	51
(12) 光化学スモッグによると思われる被害届出状況	52
(13) 東京都及び近県における光化学スモッグ発令状況及び被害状況	53
3 東京都大気汚染緊急時対策実施要綱（オキシダント）等	
(1) 東京都大気汚染緊急時対策実施要綱（オキシダント）	54
(2) 光化学スモッグ緊急時対策実施要綱改正経緯	64

I 光化学スモッグの発生状況

東京都では、大気汚染防止法及び条例に基づき、1972年に「東京都大気汚染緊急時対策実施要綱（オキシダント）」を定め、光化学スモッグ注意報の発令などの大気汚染緊急時対策を実施している。2024年4月から同年10月までの光化学スモッグの発生状況は次のとおりである。

1 発令状況の概要

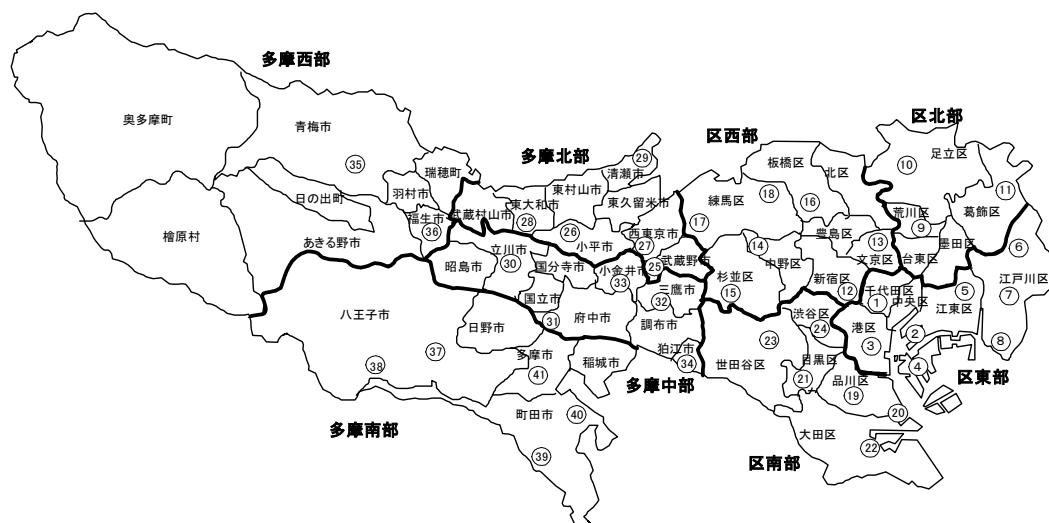
(1) 光化学スモッグ緊急時発令体制

都内を8地域に分けて、光化学スモッグが発生しやすい4月から10月までの間、基準測定点におけるオキシダント濃度が緊急時の発令基準以上になった場合には、光化学スモッグ注意報等を発令している。

表1-1 発令基準及び発令地域（図1-1参照）

発令基準	学校情報：オキシダント濃度が0.10ppm以上で継続するとき。 予報：注意報以上の状態が予想されるとき。 注意報：オキシダント濃度が0.12ppm以上で継続するとき。 警報：オキシダント濃度が0.24ppm以上で継続するとき。
発令地域	区部：区東部・区北部・区西部・区南部の4地域 多摩部：多摩北部・多摩中部・多摩西部・多摩南部の4地域
基準測定点	区部24測定点、多摩部17測定点の計41測定点

図1-1 オキシダントの発令地域及び基準測定点



地域	区東部	区北部	区西部	区南部
基準測定点	① 千代田区神田司町	⑨ 荒川区南千住	⑫ 国設東京新宿	⑯ 品川区豊町
	② 中央区晴海	⑩ 足立区西新井	⑬ 文京区本駒込	⑰ 品川区八潮
	③ 港区高輪	⑪ 葛飾区鎌倉	⑭ 中野区若宮	㉑ 目黒区碑文谷
	④ 港区台場		⑮ 杉並区久我山	㉒ 大田区東糀谷
	⑤ 江東区大島		⑯ 板橋区氷川町	㉓ 世田谷区世田谷
	⑥ 江戸川区鹿骨		⑰ 練馬区石神井町	㉔ 渋谷区宇田川町
	⑦ 江戸川区春江町		⑱ 練馬区北町	
	⑧ 江戸川区南葛西			
地域	多摩北部	多摩中部	多摩西部	多摩南部
基準測定点	㉕ 武蔵野市関前	㉖ 立川市泉町	㉗ 青梅市東青梅	㉘ 八王子市片倉町
	㉖ 小平市小川町	㉗ 府中市四谷	㉘ 福生市本町	㉙ 八王子市館町
	㉗ 西東京市南町	㉘ 調布市深大寺南町		㉚ 町田市金森
	㉘ 東大和市奈良橋	㉙ 小金井市東町		㉛ 町田市能ヶ谷
	㉙ 清瀬市上清戸	㉚ 狐江市中和泉		㉜ 多摩市愛宕

(2) 光化学スモッグの発令状況の概要

7月から8月中旬にかけて猛暑日（最高気温35°C以上）の日が多く、東京の7月の平均気温は28.7°Cと平年と比べかなり暑い夏であった。

光化学スモッグ注意報の発令は6月に1日、7月に9日、8月に3日、9月に2日の合計15日で、過去10年で最大となった。特に7月4日から8日にかけては5日間連續で光化学スモッグ注意報を発令した。

予報の発令日数は5日で、学校情報の提供日数は33日で警報の発令はなかった。

光化学スモッグによる被害届はなかった。

表1-2 今年の発令状況

種類	年 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計	最高濃度
予報	2024	0	0	0	5	0	0	0	5	—
	過去10年の平均	0.0	0.3	0.4	1.4	1.0	0.0	0.0	3.1	—
注意報	2024	0	0	1	9	3	2	0	15	0.164ppm
	過去10年の平均	0.0	0.7	0.8	3.2	2.4	0.1	0.1	7.3	0.183ppm
学校 情 報	2024	1	2	2	18	6	4	0	33	—
	過去10年の平均	0.4	2.5	3.3	7.4	5.4	0.7	0.4	20.0	—

表 1-3 光化学スモッグ予報・注意報の地域別発令状況

月 日	曜	種類	延べ 日数	区東部	区北部	区西部	区南部	多摩 北部	多摩 中部	多摩 西部	多摩 南部
6月 26日	水	予報	-								
		注意報	1				●				●
7月 4日	木	予報	1	○	○	○	○	○	○	○	○
		注意報	2					●	●	●	●
7月 5日	金	予報	2			○	○	○	○	○	○
		注意報	3			●		●	●	●	●
7月 6日	土	予報	2								
		注意報	4	●		●	●	●	●		●
7月 7日	日	予報	2								
		注意報	5		●	●					
7月 8日	月	予報	2								
		注意報	6		●	●					
7月 18日	木	予報	3	○	○	○	○	○	○	○	○
		注意報	7					●	●		●
7月 22日	月	予報	4	○	○	○	○	○	○	○	○
		注意報	8			●			●		
7月 25日	木	予報	4								
		注意報	9			●		●			
7月 27日	土	予報	4								
		注意報	10	●	●	●					
7月 28日	日	予報	5	○	○	○	○	○	○	○	○
		注意報	10								
8月 3日	土	予報	5								
		注意報	11			●	●	●	●		
8月 4日	日	予報	5								
		注意報	12	●	●	●	●	●	●		
8月 5日	月	予報	5								
		注意報	13			●	●	●	●		
9月 6日	金	予報	5								
		注意報	14			●	●				
9月 7日	土	予報	5			●					
		注意報	15			●					

○：予報発令地域

●：注意報発令地域

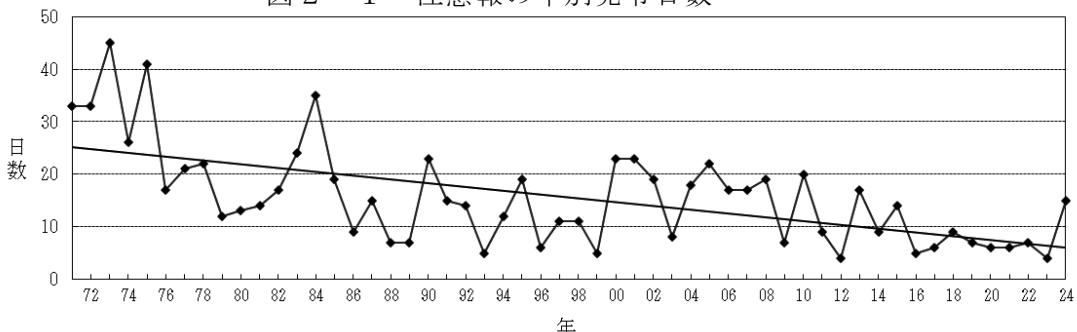
2 光化学スモッグの発令状況

(1) 光化学スモッグ注意報

ア 発令日数

- ① 今年の発令日数は15日で、1971年以降の平均発令日数（15.4日）と同程度で、過去10年間の平均発令日数（7.3日）よりかなり多く、過去10年で最大となった。
- ② 2015年以降の10年間の発令日数は、15日以下である。
- ③ 初回の発令日は6月26日で、最終の発令日は9月7日であった。初回から最終発令までの期間は74日であった。

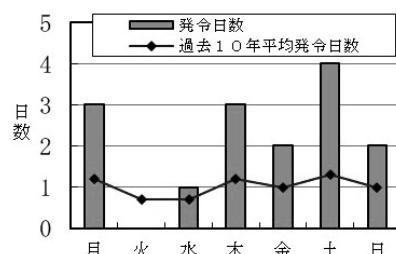
図2-1 注意報の年別発令日数



イ 曜日別発令状況

発令日数は、月曜日、木曜日がそれぞれ3日、水曜日が1日、金曜日、日曜日がそれぞれ2日で、土曜日が4日であった（図2-2）。

図2-2 曜日別発令状況



ウ 地域別発令状況

地域別発令日数は、区西部が12日で最も多く、多摩中部が8日で、その他の地域はそれぞれ2～7日であった（図2-3）。

エ 月別発令状況

月別発令日数は、6月が1日、7月が9日、8月が3日、9月が2日であった（図2-4）。

図2-3 地域別発令状況

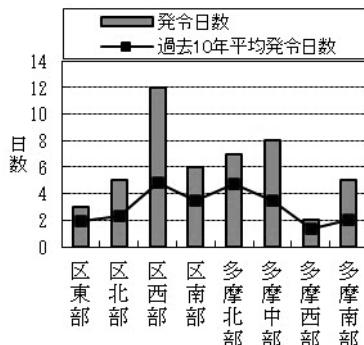
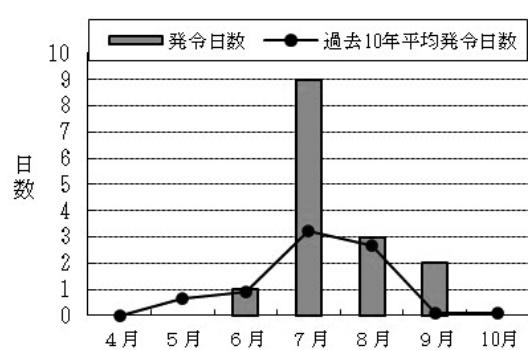


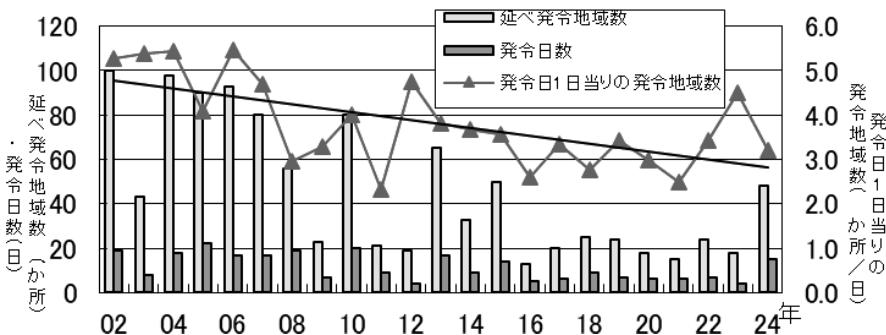
図2-4 月別発令状況



才 発令地域数の状況

延べ発令地域数は48、発令日1日当たりの発令地域数は3.2で、全域の発令はなかった（図2-5）。

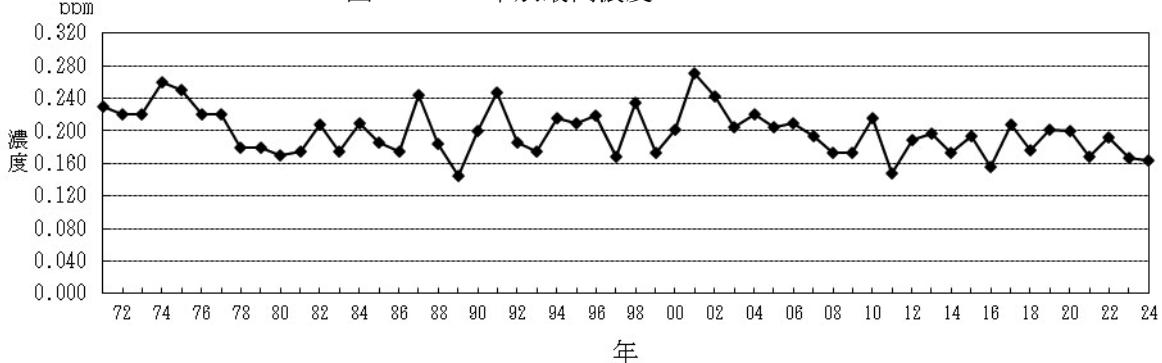
図2-5 発令日1日当たりの発令地域数



カ オキシダント濃度

- ① 今年のオキシダントの最高濃度は、区南部の品川区八潮で7月6日に観測した0.164ppmであった（図2-6）。

図2-6 年別最高濃度

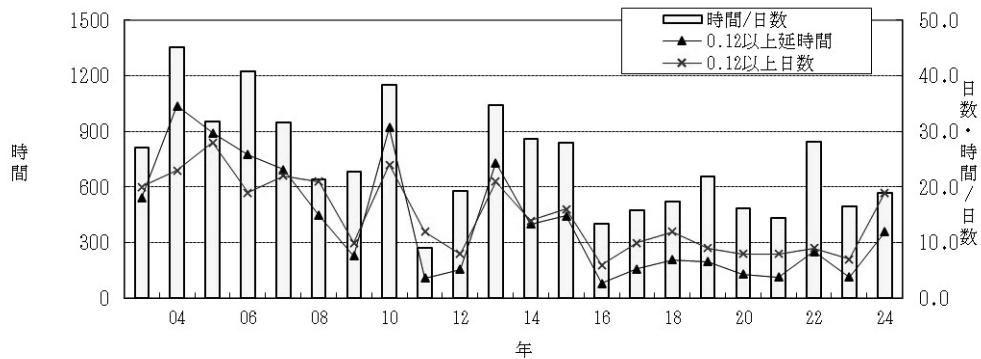


- ② オキシダント濃度が注意報の発令基準の0.120ppm以上となった日数は19日で、延べ時間数は360時間（図2-7）であった。

また、1日当たり0.120ppm以上となった延べ時間数は18.9時間であった。

- ③ オキシダント濃度が0.120ppmを超えた時間数の最も多かった測定局は、区西部の練馬区石神井町で、23時間であった。

図2-7 0.12ppm以上の時間・日数

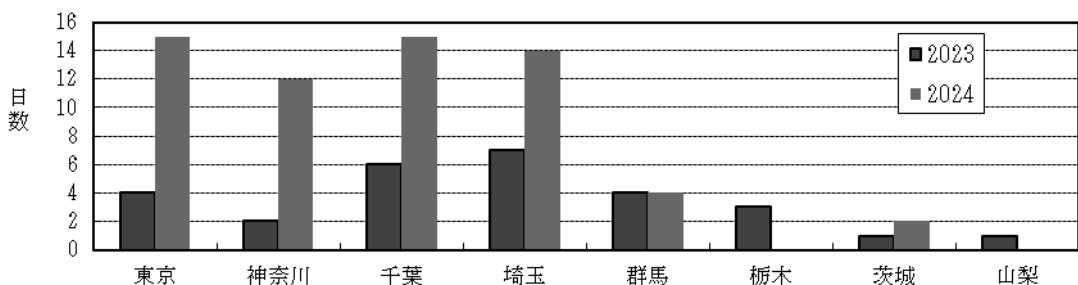


キ 近県の注意報発令状況

近県の注意報の発令状況は、東京都及び千葉県が15日で最も多く、次に埼玉県が14日であった。栃木県及び山梨県は発令がなかった（図2-8）。

また、一都七県の光化学スモッグによる被害届者数は神奈川県で7名であった。

図2-8 近県の注意報発令日数



(2) 光化学スモッグ学校情報

学校情報の提供日数は33日で昨年より14日多く、過去10年の平均提供日数の（19.2日）を大きく上回った（図2-9）。地域別では区西部が多かった（図2-10）。月別では7月が一番多く18日で、10月は提供がなかった（図2-11）。初回の提供日は4月28日で、最終提供日は9月20日であった。

図2-9 年別学校情報提供日数

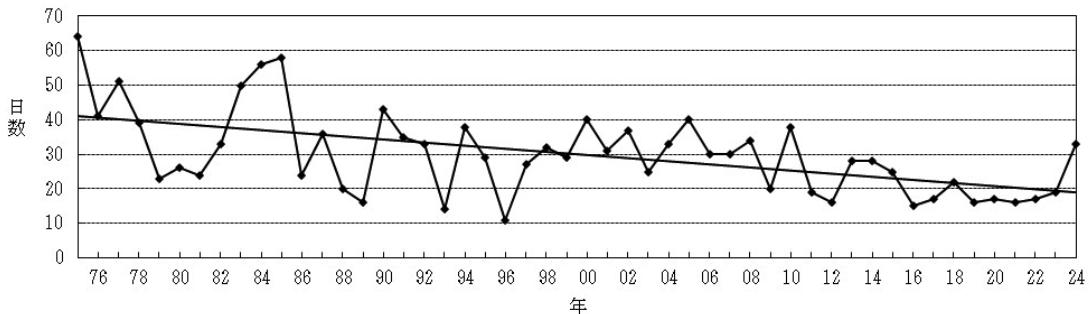


図2-10 地域別学校情報提供日数

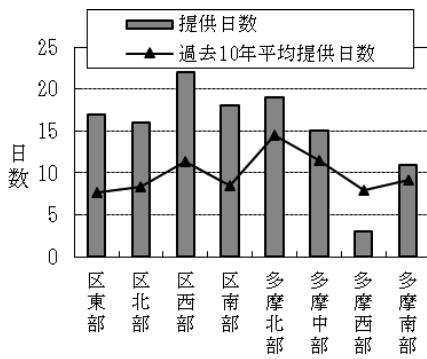
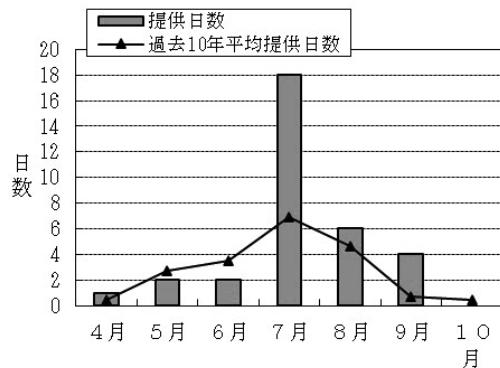


図2-11 月別学校情報提供日数



(3) 光化学スモッグ予報・警報

今年は7月4日、5日、18日、22日、28日に予報を発令したが、7月28日は注意報基準に達しなかった。

また、警報の発令はなかった。

3 光化学スモッグによると思われる被害届出状況

今年の光化学スモッグによる被害届はなかった（表3－1）。

表3－1 光化学スモッグ被害届出状況

年	届出数	年	届出数	年	届出数	年	届出数
1970	10,064	1984	415	1998	333	2012	0
1971	28,223	1985	13	1999	0	2013	2
1972	8,437	1986	8	2000	16	2014	0
1973	4,035	1987	4	2001	52	2015	0
1974	2,711	1988	0	2002	410	2016	0
1975	5,210	1989	16	2003	12	2017	0
1976	477	1990	4	2004	159	2018	0
1977	30	1991	103	2005	247	2019	0
1978	325	1992	0	2006	2	2020	0
1979	64	1993	0	2007	0	2021	0
1980	24	1994	183	2008	94	2022	0
1981	36	1995	5	2009	0	2023	0
1982	102	1996	0	2010	18	2024	0
1983	35	1997	3	2011	0		※0.0

※ 過去10年の平均

4 気象概況及び注意報発令日の気象状況

4月から10月までの気象概況を（1）に、光化学スモッグ注意報を発令した日の気象状況及び汚染状況を（2）に示す。

（1）気象概況

今年の4月から10月にかけて、関東地方は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、低気圧や台風の影響で大雨の日もあった。最高気温は6月下旬から9月下旬にかけては真夏日（最高気温30°C以上）の日が多く、その中でも7月と8月は猛暑日（最高気温35°C以上）の日が多く、平年と比べてかなり暑い夏であった（表4－1及び参考資料1（3）各月の気象概況参照）。

- ① 平均気温及び最高気温、最低気温ともに平年よりかなり高かった。
- ② 真夏日、猛暑日及び熱帯夜（最低気温25°C以上の日）は平年よりかなり多かった。
- ③ 平均風速は平年並だった。
- ④ 降水量は5から8月は平年より多く、その中でも6月と8月は平年よりかなり多く、9月はかなり少なかった。期間の合計は平年より多かった。
- ⑤ 日照時間は平年より少し多く、6月から9月は多かった。
- ⑥ 台風の日本への上陸は2個（平年3.0個）で、台風第5号が8月12日に岩手県に、台風第10号が8月29日に鹿児島県に強い勢力で上陸し九州から四国を横断した。この影響で関東地方でも大雨になった。

表4-1 気象概況

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4~10月
気象要素	平均気温 (°C)	17.1 14.3	20.0 18.8	23.1 21.9	28.7 25.7	29.0 26.9	26.6 23.3	20.6 18.0	23.6 21.3
	最高気温 (°C)	21.8 19.4	24.8 23.6	27.7 26.1	33.5 29.9	33.6 31.3	30.9 27.5	24.5 22.0	28.1 25.7
	最低気温 (°C)	13.1 9.8	15.6 14.6	19.3 18.5	25.0 22.4	25.7 23.5	23.5 20.3	17.4 14.8	19.9 17.7
	平均風速 (m/s)	2.7 3.2	3.3 3.1	2.6 2.8	2.6 3.2	3.0 2.9	2.9 2.7	2.4 2.6	2.8 2.9
	降水量 (mm)	115.5 133.7	201.5 139.7	350.0 167.8	206.5 156.2	381.0 154.7	111.5 224.9	174.5 234.8	1540.5 1211.8
	日照時間 (h)	150.3 178.8	185.5 179.6	158.1 124.2	199.6 151.4	189.8 174.2	160.8 126.7	111.7 129.4	1155.8 1064.3
	雲量 8.5以上	14 12.1	16 15.2	17 20.5	20 18.6	12 14.8	11 15.6	15 14.8	105 111.6
天気日数	霧	0 0.4	0 0.2	0 0.1	0 0.1	0 0.0	0 0.1	0 0.1	0 1.0
	不照	6 5.3	4 5.4	3 7.6	2 5.7	2 3.3	2 6.1	9 6.7	28 40.1
	最低気温 25°C以上	0 0.0	0 0.0	0 0.2	14 6.1	23 9.9	10 1.7	0 0.0	47 17.9
	最高気温 30°C以上	0 0.0	0 0.6	7 3.6	25 16.8	29 22.6	19 8.2	3 0.3	83 52.1
	最高気温 35°C以上	0 0.0	0 0.0	0 0.1	12 1.4	7 3.0	1 0.3	0 0.0	20 4.8
	日降水量 1mm以上	11 9.5	11 10.1	9 11.6	10 10.5	11 7.9	11 11.0	12 10.5	75 71.1
	雷電	0 1.1	0 1.6	2 1.2	7 2.5	10 3.2	3 2.5	0 0.8	22 12.9
	台風	発生個数	0 0.6	2 1.0	0 1.7	2 3.7	6 5.7	8 5.0	3 3.4
	上陸個数	0 0.0	0 0.0	0 0.2	0 0.6	2 0.9	0 1.0	0 0.3	2 3.0

(注) 1 気象庁東京管区気象台の資料による

2 各項目下段は平年値(1991年から2020年までの30年間の平均値)

(2) 注意報発令日の気象状況

①2024年6月26日(水)

ア 地上天気図

関東地方は、南海上に中心を持つ高気圧に広く覆われて雲が多いながらも晴れた。

最高気温は、31.4°C（平年値27.1°C）と、平年より4.3°C高く真夏日となった。

イ 安定度と上層風

館野（茨城県つくば市にある関東地方唯一の高層気象台）の9時の状態曲線図では、地上と上空1000mとの温度差は4.9°Cで、上空800～900m付近では南東の風が7mほど吹いていたが、地上～上空200m付近は北東の風が1～5m/s吹いて海風の弱い状態が続いた。

東京スカイツリー立体測定局(150m、325m)では、9時に0.4°Cの気温の逆転があった。

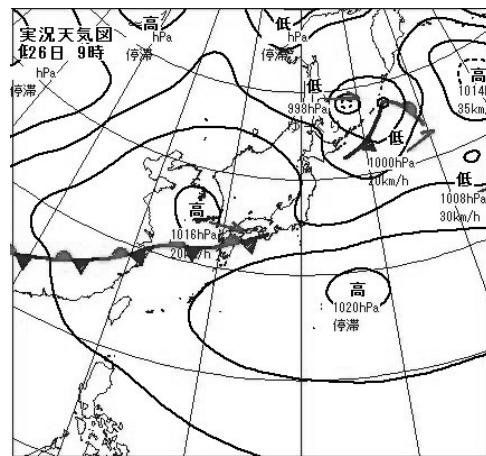
ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

9時の都内は、1～3m/sの北よりの風が吹き、オキシダント濃度は低かったが、13時には東京湾沿岸で南東の風が2～3m/s吹き、内陸の北よりの風で区北部・区西部と区東部・区南部の間付近に収束線があり、区南部を中心にオキシダント濃度が急上昇し、区南部には注意報を発令した。15時には区南部の大田区東糀谷で0.153ppmまで上昇した。オキシダント濃度の高い地域は、次第に西へ移動し、15時には区部のオキシダント濃度が低下したため、15時には区南部の注意報が解除となったが、多摩南部ではオキシダント濃度が上昇し、15時には注意報を発令した。17時には多摩部では南東の風4m/s前後の地点が多くなったことから、オキシダント濃度が低下し、17時には多摩南部の注意報を解除した。

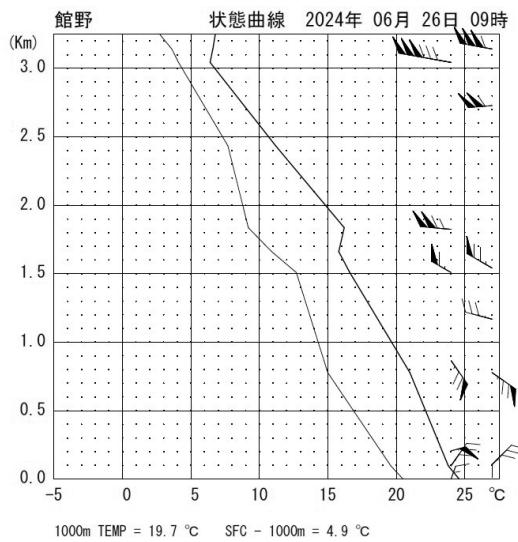
注) 収束線(破線)の描き方

関東地方の常時監視測定局の風向・風速データを地図上にプロットし流線図を描画した後に、2方向から風がぶつかっている収束線を破線で表現した。

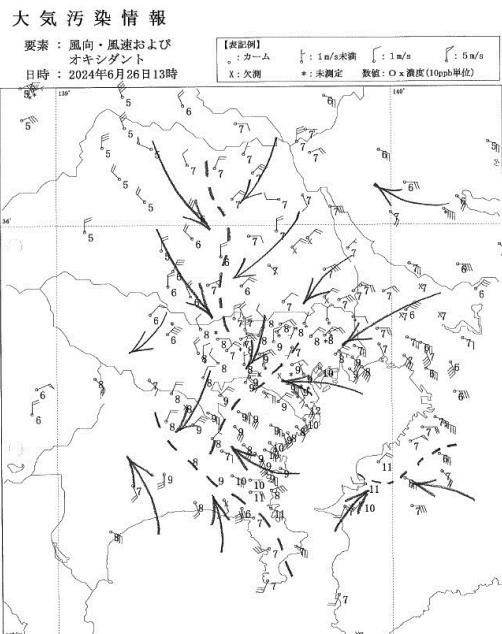
地上天気図 9時



館野状態曲線図 9時



収束線(破線) 13時



②2024年7月4日(木)

ア 地上天気図

関東地方は、南海上に中心を持つ高気圧に広く覆われて晴れた。

最高気温は、35.0°C（平年値28.5°C）と、平年より6.5°Cも高く猛暑日となった。

イ 安定度と上層風

館野（つくば市）の9時の状態曲線図では、地上と上空1000mとの温度差は5.1°Cと、下層大気の状態は安定で汚染物質は上空へは拡散されにくかった。

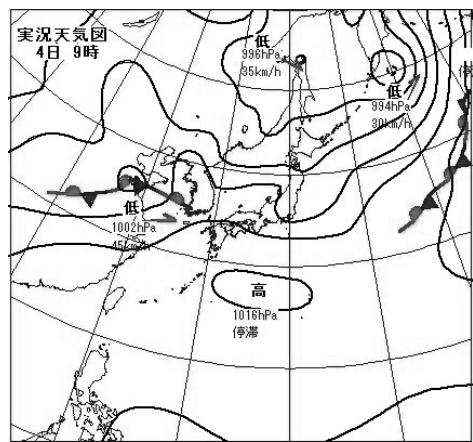
東京スカイツリー立体測定局(150m、325m)では、9時に1.2°Cの気温の逆転があった。

ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

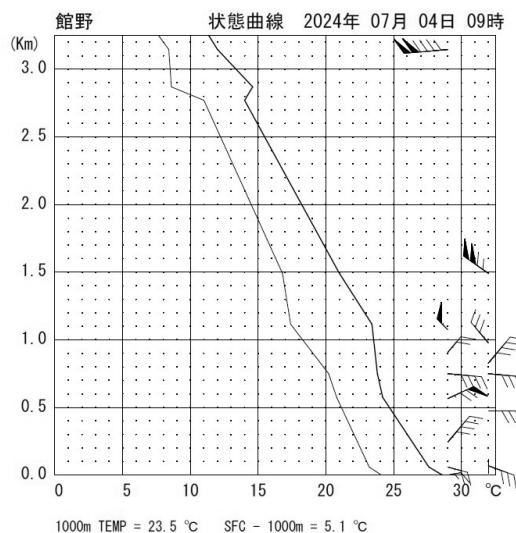
9時の都内は、1~4m/sの北~北東の風が吹き、オキシダント濃度は高い地点で0.065 ppm前後であった。11時頃からは都内に東京湾海風が入り、13時には風上側の区南部から神奈川県横浜方面で南東の風3~4m/sの地点が多くなり、埼玉県境付近に形成された収束線は次第に多摩方面へ移動した。13時には多摩南部、14時には多摩中部、16時には多摩西部に注意報を発令した。14時には多摩南部の町田市能ヶ谷で0.154 ppmまで上昇した。

16時以降は、多摩部で南東の風が吹き渡り、16時に多摩中部、多摩南部、18時までには全域解除した。

地上天気図 9時

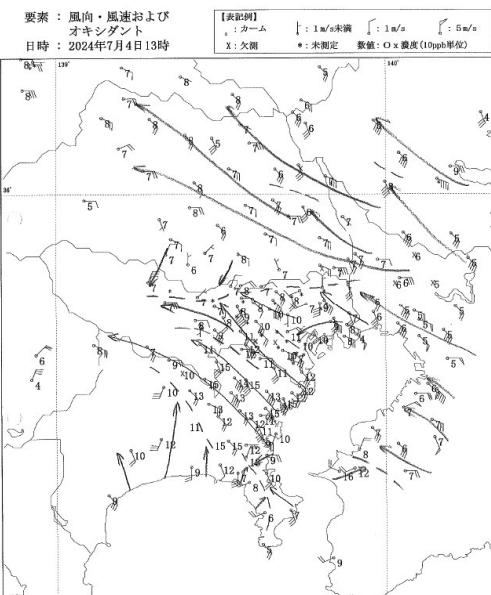


館野状態曲線図 9時



収束線（破線） 13時

大気汚染情報



③2024年7月5日(金)

ア 地上天気図

関東地方は、南海上に中心を持つ高気圧に広く覆われて晴れた。

最高気温は、35.5°C（平年値28.6°C）と、平年より6.9°Cも高く猛暑日となった。

イ 安定度と上層風

館野（つくば市）の9時の状態曲線図では、地上と上空1000mとの温度差は6.3°Cと、下層大気の状態は安定で、高度500～900m付近は安定層になっており、汚染物質は上空に拡散されにくかった。

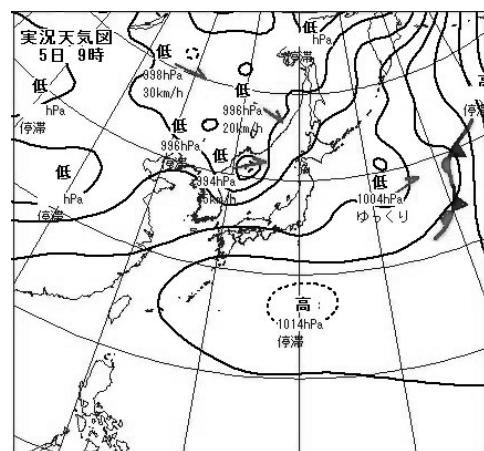
東京スカイツリー立体測定期（150m、325m）では、9時に1.4°Cの気温の逆転があった。

ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

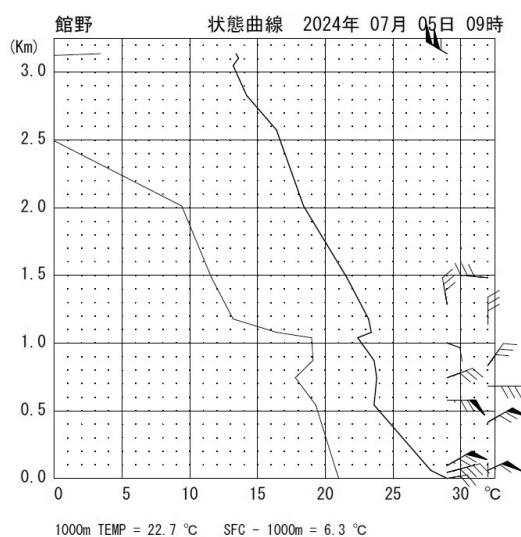
9時の都内は、1～3m/sの弱い北東の風が吹き、オキシダント濃度は高い地点で0.055 ppm前後であった。11時頃からは東京湾海風が入り、区東部を中心にオキシダント濃度が0.080 ppmを超えた地点があった。13時には東京湾海風や神奈川県側から流れ込む南よりの風と、内陸の北～東よりの風との間の収束線が区北部・区西部と区東部・区南部の間付近に形成され、区東部・区南部の複数地点でオキシダント濃度が0.100 ppmを超えた。収束線はゆっくりと埼玉県側へ北上したが、神奈川県側からの流入によりオキシダント濃度が高まり、14時には多摩南部、15時には多摩北部、多摩中部に、16時には多摩西部に、17時には区西部に注意報を発令した。16時には小平市小川町で0.154 ppmまで上昇した。

17時には南よりの風が強まり17時に多摩中部の注意報を解除し、18時までには全域解除した。

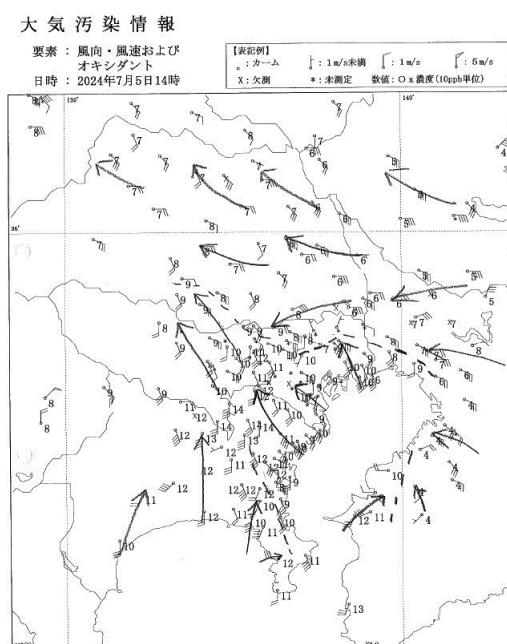
地上天気図 9時



館野状態曲線図 9時



収束線（破線） 14時



④2024年7月6日(土)

ア 地上天気図

関東地方は、南海上に中心を持つ高気圧に広く覆われて晴れた。

最高気温は、34.2°C（平年値28.7°C）と、平年より5.5°C高く真夏日となつた。

イ 安定度と上層風

館野（つくば市）の9時の状態曲線図では、地上と上空1000mとの温度差は5.8°Cと、下層大気の状態は安定で、上空700~800m付近には逆転層が形成され、汚染物質は上空に拡散されづらい状況であった。

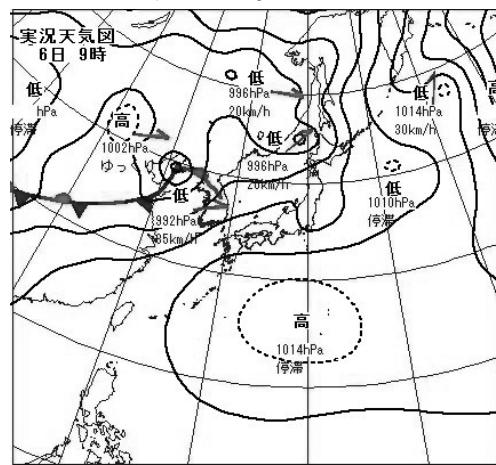
また、地上～上空500m付近の風も2m/s以下と弱い状態が続いた。

東京スカイツリー立体測定局(150m、325m)では、9時に気温の逆転はなかった。

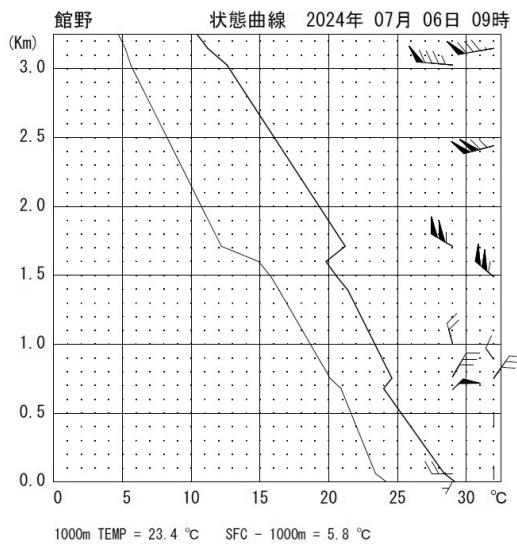
ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

9時の都内は、風が1m/s前後と弱く、オキシダント濃度は、0.060~0.065 ppmの地点が多くたが、10時には東京湾からの南東の風や、神奈川県側から流れ込む南よりの風と内陸からの北よりの風との間の収束線が区東部・区南部付近に形成され、12時頃にかけて収束線が次第に明瞭になった。その後、収束線がゆっくりと埼玉県側に北上するとともに、オキシダント濃度の高い地域が都内の広範囲に広がり、14時には区東部、区南部、多摩北部、多摩中部に注意報を発令した。14時には品川区八潮で0.164ppmまで上昇した。これが東京における今期の最大濃度である。15時には区西部、多摩南部にも注意報を発令した。15時以降は、都内の所々でにわか雨や雷雨があり、17時には都内全域で注意報を解除した。

地上天気図 9時

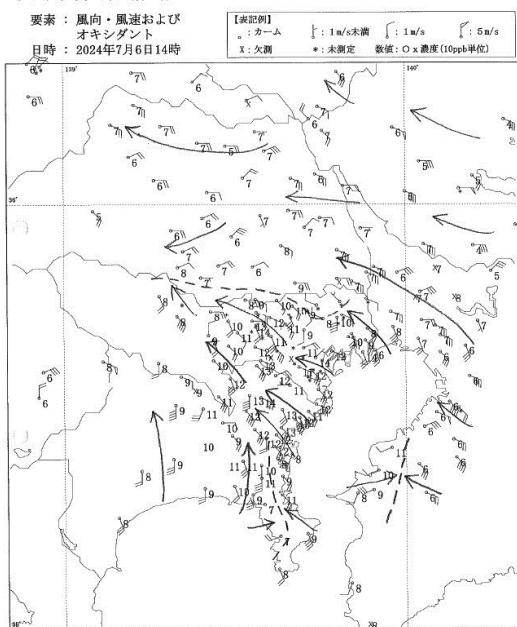


館野状態曲線図 9時



収束線（破線） 14時

大気汚染情報



⑤2024年7月7日(日)

ア 地上天気図

日本海には梅雨前線がのびていたが、関東地方は南海上に中心を持つ高気圧に覆われて概ね晴れた。

最高気温は、34.4°C（平年値28.9°C）と、平年より5.5°C高い真夏日となった。

イ 安定度と上層風

館野（つくば市）の9時の状態曲線図では、地上と上空1000mとの温度差は0.6°Cで、上空500～1000m付近には逆転層が形成され、下層大気の状態は強い安定であった。

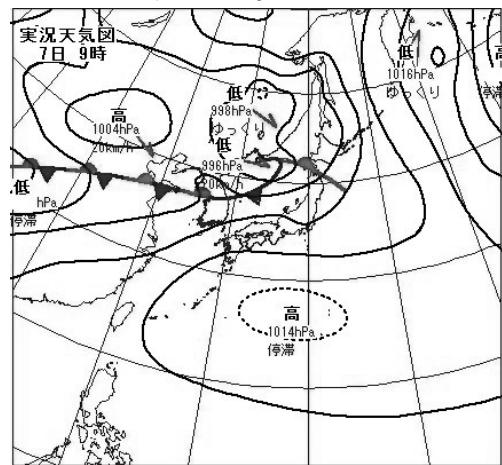
また、地上～上空500m付近の風は、西よりの風が1～3m/sと弱い状態が続いた。

東京スカイツリー立体測定局(150m、325m)では、9時に気温の逆転はなかった。

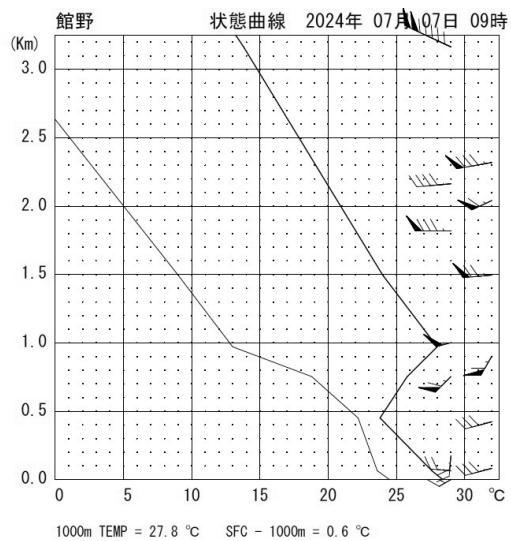
ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

9時の都内は、すでに東京湾からの南東の海風が入り、内陸の南西風との間で収束線が区西部・区南部と区東部の間付近に形成されていた。風速は全般に1～2m/sと弱く、オキシダント濃度は、東京湾沿岸部の高い地点で0.060ppm前後であった。昼過ぎ以降は、収束線がゆっくりと北上し、13時に区北部、14時には区西部に注意報を発令した。13時には足立区西新井で0.135ppmまで上昇した。その後、南よりの風が強まり、オキシダント濃度の高い空気は、多摩北部方面に流れ、15時には注意報をすべて解除した。

地上天気図 9時

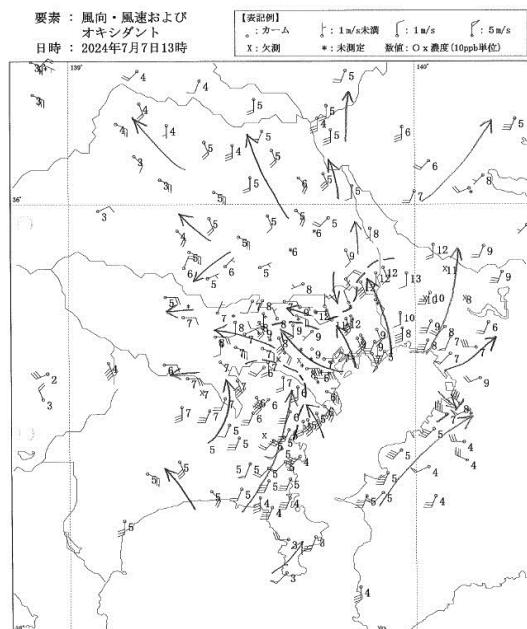


館野状態曲線図 9時



収束線（破線） 13時

大気汚染情報



⑥2024年7月8日(月)

ア 地上天気図

日本海には梅雨前線がのびていたが、関東地方は南海上に中心を持つ高気圧に覆われて概ね晴れた。

最高気温は、36.0°C（平年値29.0°C）と、平年より7.0°Cも高く猛暑日となった。

イ 安定度と上層風

館野（つくば市）の9時の状態曲線図では、地上と上空1000mとの温度差は5.0°Cで、上空500～600m付近には逆転層が形成され、下層大気の状態は安定であった。

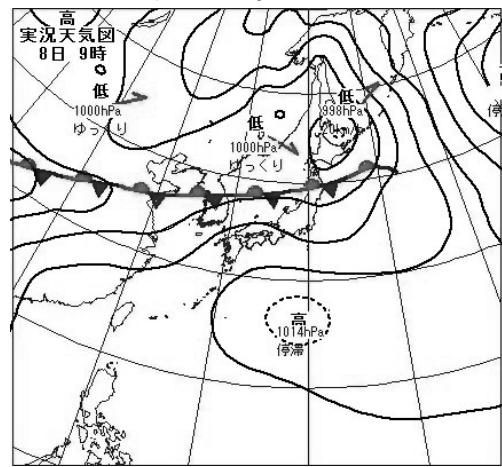
また、地上～上空900m付近の風は1～3m/sと弱い状態が続いた。

東京スカイツリー立体測定局(150m、325m)では、9時に0.9°Cの気温の逆転があった。

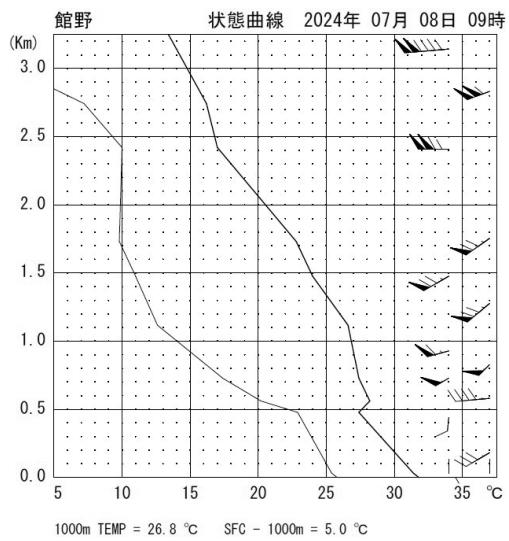
ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

9時の都内は、東京湾周辺では2m/s前後の南～南東の風が吹きはじめていたが、そのほかは、1～3m/sの北よりの風の地点が多く、東京湾海風との間に収束線が東京湾沿岸部に形成され、オキシダント濃度は0.050～0.060ppmの地点が多かった。その後、東京湾海風の強まりとともに、収束線はゆっくりと北上したが、13時頃からは収束線が埼玉県境付近に停滞した。14時には区北部、区西部に注意報を発令した。15時には練馬区石神井町、15時と16時には練馬区北町で0.157ppmまで上昇した。南よりの風が強まり、17時頃には収束線が埼玉県南部まで北上し、注意報はすべて解除した。

地上天気図 9時



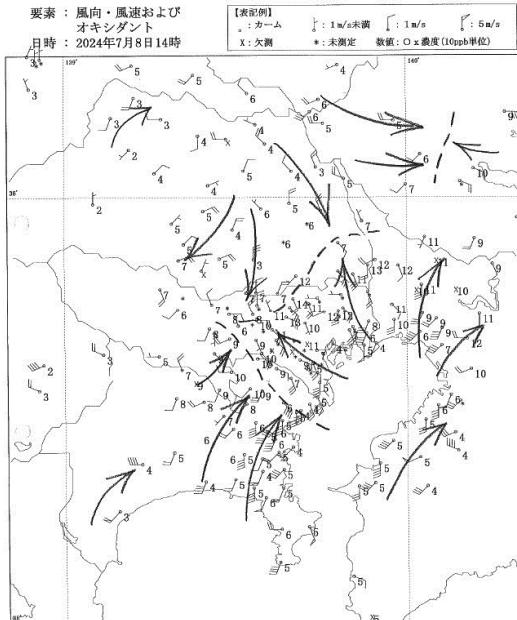
館野状態曲線図 9時



収束線（破線） 14時

大気汚染情報

要素：風向・風速および
オキシダント
日時：2024年7月8日14時



⑦2024年7月18日(金)

ア 地上天気図

日本海には梅雨前線が停滞していたが、関東地方は東海上に中心を持つ高気圧に広く覆われて晴れた。

最高気温は、33.4°C（平年値30.0°C）と、平年より3.4°Cも高い真夏日となった。

イ 安定度と上層風

館野（つくば市）の9時の状態曲線図では、地上と上空1000mとの温度差は4.4°Cで、上空600～800m付近には逆転層が形成され、下層大気の状態は安定であった。

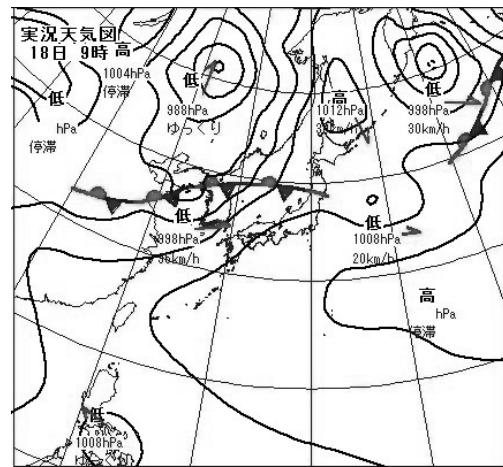
また、地上～上空500m付近の風は3m/s以下と比較的弱かった。

東京スカイツリー立体測定局(150m、325m)では、9時に気温の逆転はなかった。

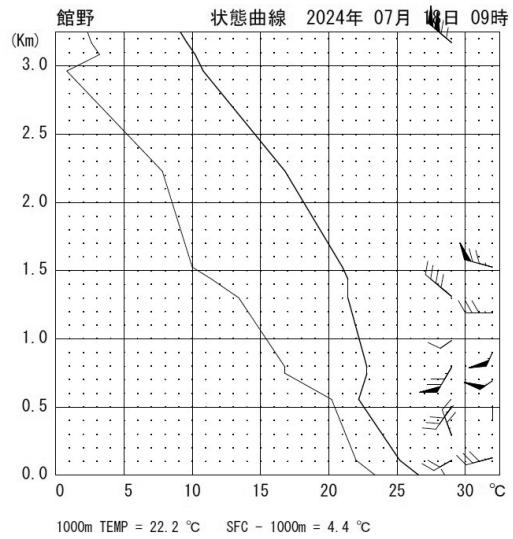
ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

9時の都内は、全般に風速1m/s前後と風が弱かった。区北部、区西部では北東の風、区南部、多摩部では南西の風の地点が多く、区南部から多摩北部から多摩中部にかけて収束線が形成されていた。オキシダント濃度は多摩北部の高い地点で0.059ppmであった。11時には、区北部・西部も含めて南よりの風の地点が多くなり、埼玉県との県境付近に収束線が形成された。収束線近くの多摩北部では11時に、区西部では12時にオキシダント濃度が0.100ppmに達した地点があった。昼過ぎも収束線が埼玉県南部付近に停滞し、都内に汚染物質が滞留しやすい状況であった。13時には多摩中部、14時には多摩北部、多摩南部に注意報を発令した。14時には小平市小川町で0.154ppmまで上昇した。南よりの風が強まり高濃度の中心は、次第に埼玉県側に移り、15時に多摩南部、16時には多摩北部、多摩中部の注意報を解除した。

地上天気図 9時

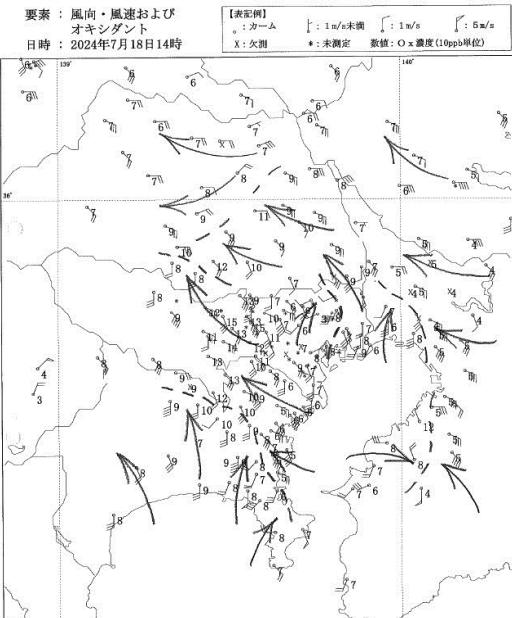


館野状態曲線図 9時



収束線（破線） 14時

大気汚染情報



⑧2024年7月22日(月)

ア 地上天気図

関東地方は、南から張り出す高気圧に広く覆われて晴れた。

最高気温は、36.6°C（平年値30.4°C）と、平年より6.2°Cも高く猛暑日となった。

イ 安定度と上層風

館野（つくば市）の9時の状態曲線図では、地上と上空1000mとの温度差は5.2°Cで、上空600～700m付近には逆転層が形成され、下層大気の状態は安定であった。

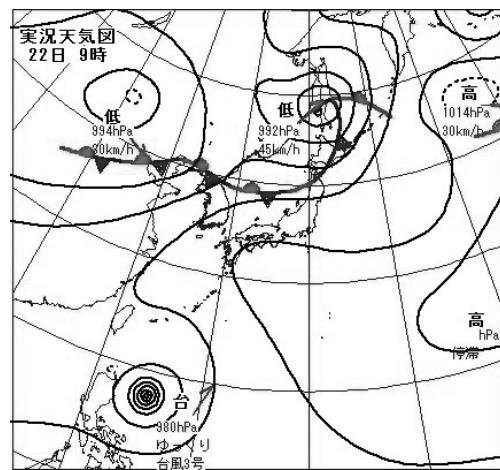
また、地上付近はの風は1～3m/sと弱い状態で、上空300m～100m付近が北よりの風が3～5m/s吹いていた。

東京スカイツリー立体測定局(150m、325m)では、9時に気温の逆転はなかった。

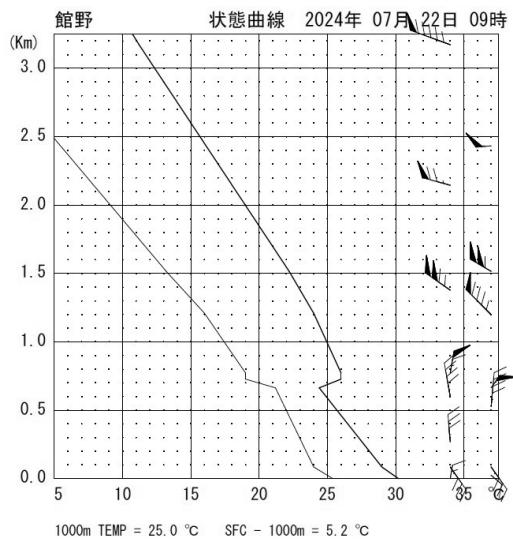
ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

9時の都内は、北よりの風の地点が多く、風速は1～3m/sと弱かった。10時には東京湾沿岸部で南よりの海風が吹きはじめた。12時には、内陸からの北～東よりの風と、東京湾からの南～南東よりの風との収束線が、都内の南北中央付近に形成された。収束線は、その後も18時頃まで都内に停滞し、オキシダント濃度は13時には区東部、区南部の複数地点で0.100ppmを超え、区南部では0.120ppmを超えた地点もあった。14時には多摩中部、15時には区西部に注意報を発令した。14時には狛江市中和泉で0.163ppmまで上昇した。16時頃からは次第に雲が広がり、オキシダント濃度は低下傾向となった。区西部では16時に、多摩中部では17時に注意報を解除した。

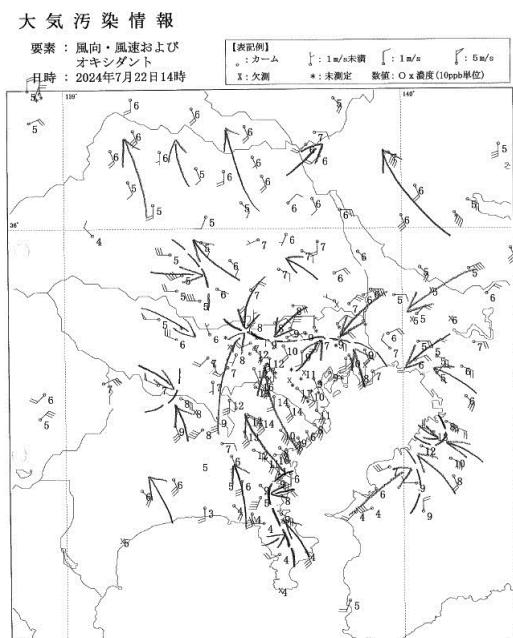
地上天気図 9時



館野状態曲線図 9時



収束線（破線） 14時



⑨2024年7月25日(木)

ア 地上天気図

関東地方は、東海上に中心を持つ高気圧に広く覆われ日中は概ね晴れた。日本海に前線が停滞し、本州付近に暖かく湿った空気が流れ込んだため、夕方以降は雨雲が広がった。

最高気温は、34.8°C（平年値30.9°C）と、平年より3.9°C高い真夏日となった。

イ 安定度と上層風

館野（つくば市）の9時の状態曲線図では、地上と上空1000mとの温度差は6.5°Cと下層大気の状態は安定であった。

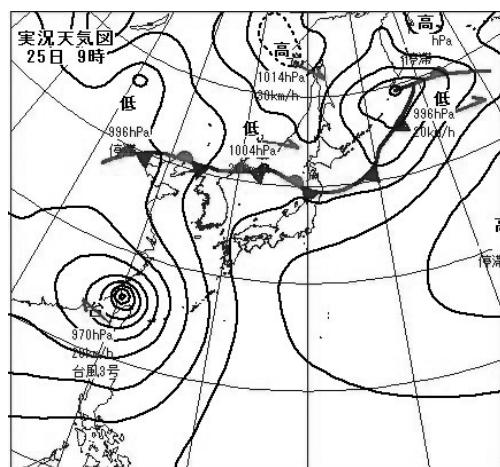
また、地上～上空500m付近の風は北よりの1～3m/sと弱い状態が続いた。

東京スカイツリー立体測定局(150m、325m)では、9時に1.1°Cの気温の逆転があった。

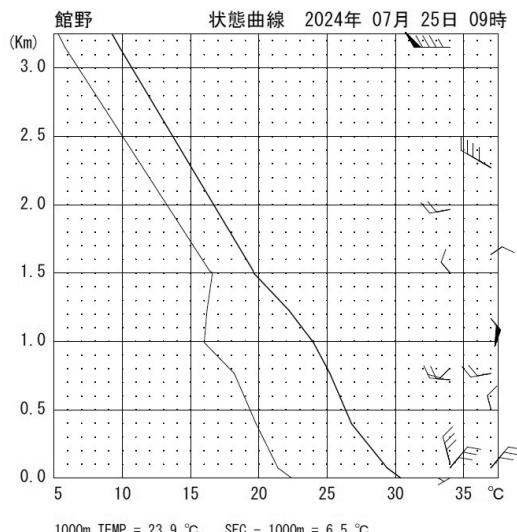
ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

9時の都内は、風速1m/s前後で風が弱く、風向が定まらない状況で、オキシダント濃度は高い地点で0.040ppmであった。10時頃からは、東京湾から南東の風が入り、東京湾沿岸部に収束線が形成された。収束線はゆっくり北上し、12時頃には埼玉県境付近まで北上し、14時頃にかけて埼玉県南部付近に停滞した。14時に区西部、多摩北部に注意報を発令した。13時、14時には練馬区石神井町で0.136ppmまで上昇した。15時以降は収束線が解消されたことと、西から次第に雲が広がり始めたことにより、オキシダント濃度が低下傾向となった。15時に区西部、多摩北部の注意報を解除した。

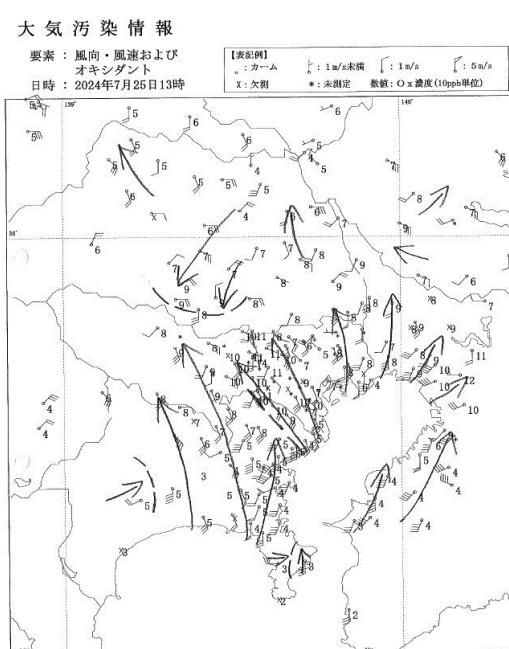
地上天気図 9時



館野状態曲線図 9時



収束線（破線） 13時



⑩2024年7月27日(土)

ア 地上天気図

関東地方は、南から張り出す高気圧に覆われ概ね晴れた。

最高気温は、35.6°C（平年値31.1°C）と、平年より4.5°C高い猛暑日となった。

イ 安定度と上層風

館野（つくば市）の9時の状態曲線図では、地上と上空1000mとの温度差は3.0°Cで、上空300～800m付近には逆転層が形成され、下層大気の状態は安定であった。

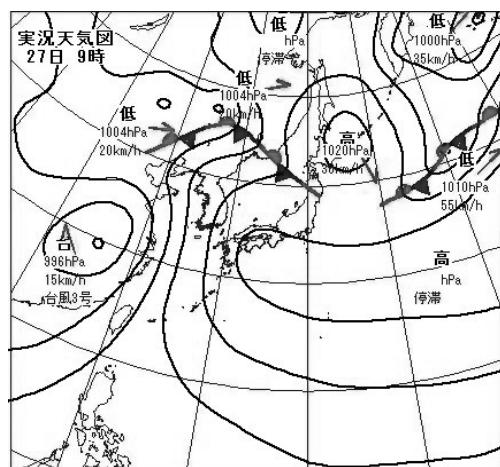
また、地上～上空900m付近の風は1～3m/sと弱い状態が続いた。

東京スカイツリー立体測定局(150m、325m)では、9時に気温の逆転はなかった。

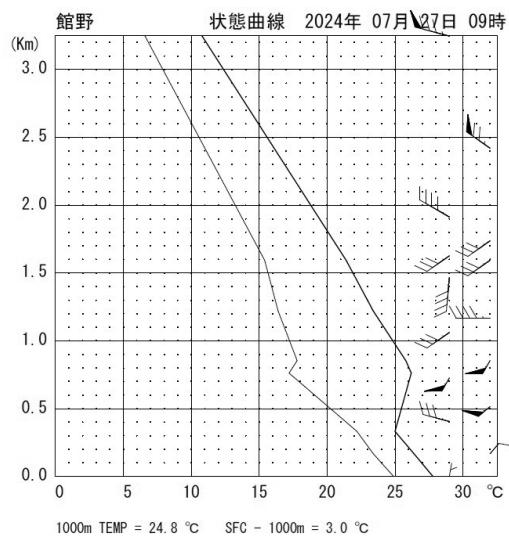
ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

9時の都内は、風速1m/s前後と風が弱く、区西部から多摩北部にかけて収束線が形成され、オキシダント濃度は、高い地点で0.030ppm未満であった。12時になっても都内の風は1～2m/sと弱く、収束線が停滞していた。収束線の南側や収束線付近ではオキシダント濃度の上昇が大きく、収束線は昼過ぎからはゆっくり北上し、15時には埼玉県南部付近に停滞した。14時には区西部、15時には区東部に注意報を発令した。15時のオキシダント濃度の高い地域は、区西部や多摩北部の埼玉県境付近を中心であったが、区東部でも濃度が上昇した地点もあり、15時には江東区大島で0.135ppmまで上昇した。16時には区西部の注意報を解除したが、17時には区北部に注意報を発令した。その後は、雨雲が広がり、オキシダント濃度が低下傾向となつたため、18時には区東部、区北部の注意報を解除した。

地上天気図 9時

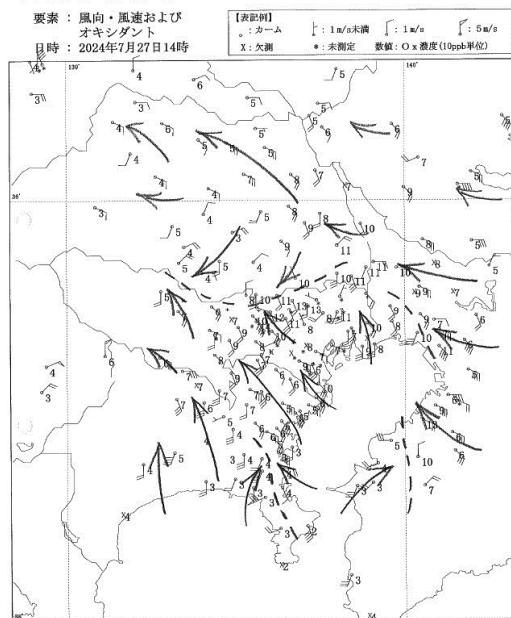


館野状態曲線図 9時



収束線（破線） 14時

大気汚染情報



⑪2024年8月3日(土)

ア 地上天気図

関東地方は、東海上に中心を持つ高気圧に広く覆われて晴れた。

最高気温は、 37.7°C (平年値 31.0°C) と、平年より 6.7°C も高く猛暑日となった。

イ 安定度と上層風

館野（つくば市）の9時の状態曲線図では、地上と上空 1000m との温度差は 8.4°C で、上空 $1000\sim 1100\text{m}$ 付近には逆転層が形成され、下層大気の状態は安定であった。

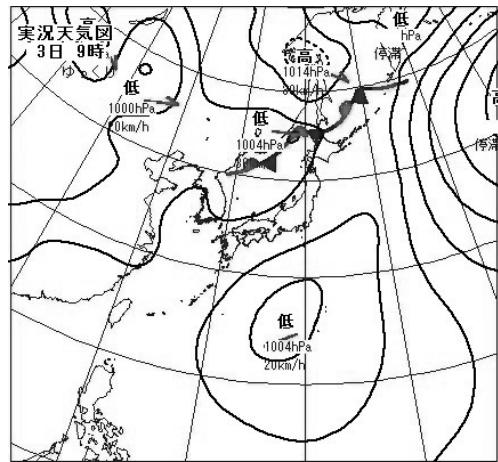
また、地上～上空 800m 付近の風は $1\sim 3\text{m/s}$ と弱い状態が続いた。

東京スカイツリー立体測定局(150m 、 325m)では、9時に気温の逆転はなかった。

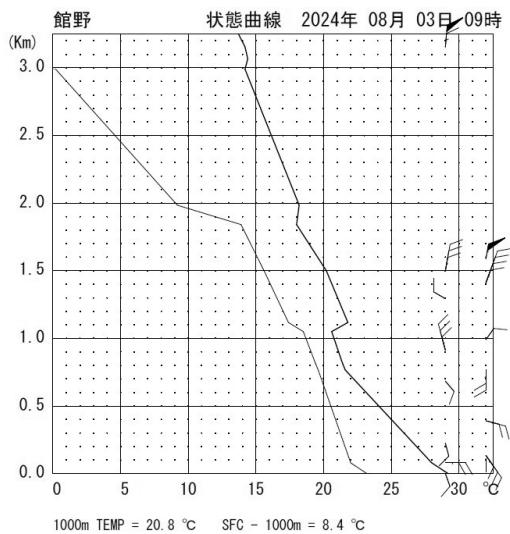
ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

9時の都内は、風速 $1\sim 2\text{m/s}$ と弱く、オキシダント濃度は、高い地点で 0.045 ppm 前後であった。12時でも都内は風速 $1\sim 3\text{m/s}$ と風の弱い地点が多くかった。気温の上昇に伴い、オキシダント濃度は、区南部の複数地点で 0.120ppm を超え、12時には区南部に注意報を発令した。その後、オキシダント濃度の高い地域が広がり、13時には区西部、14時には多摩北部、多摩中部に注意報を発令した。14時には練馬区石神井町で 0.146ppm まで上昇した。南よりの風が強まり、15時以降、オキシダント濃度の高い地域が、次第に埼玉県側に移りはじめ、15時には区南部、16時には多摩中部、17時には区西部、18時には多摩北部の注意報を解除した。

地上天気図 9時

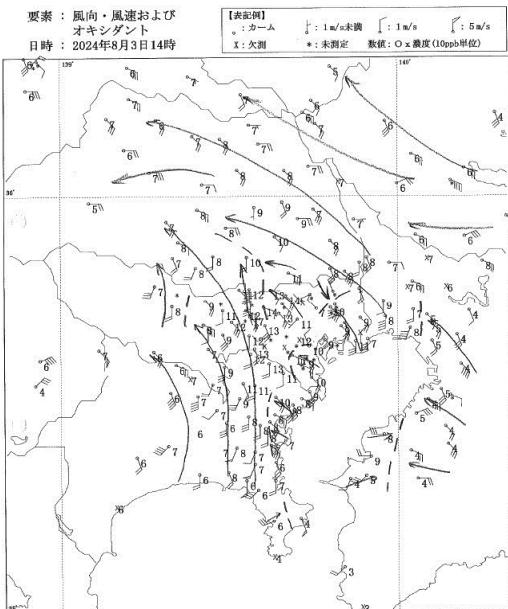


館野状態曲線図 9時



収束線（破線） 14時

大気汚染情報



⑫2024年8月4日(日)

ア 地上天気図

関東地方は、帶状に高気圧に覆われて晴れた。最高気温は、35.3°C（平年値31.8°C）と、平年より3.5°C高く猛暑日となつた。

イ 安定度と上層風

館野（つくば市）の9時の状態曲線図では、地上と上空1000mとの温度差は6.4°Cで、上空600～800m付近には逆転層が形成され、下層大気の状態は安定であった。

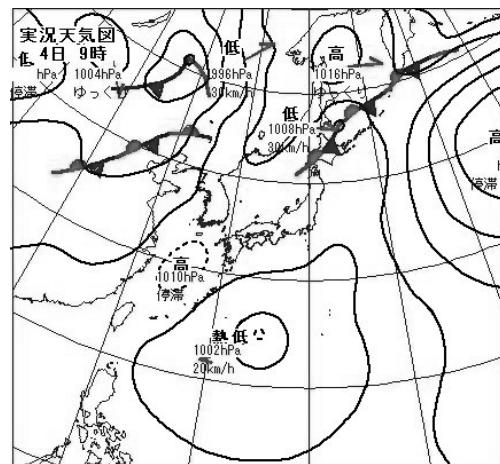
また、地上付近の風は北～東の風が1～3m/sと弱い状態であった。

東京スカイツリー立体測定局(150m,325m)では、9時に0.1°Cの気温の逆転があった。

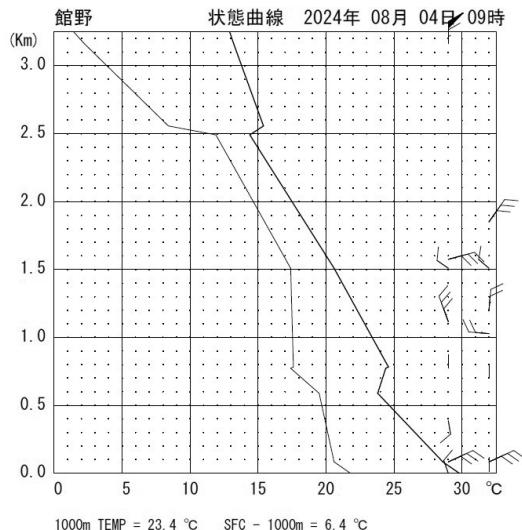
ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

9時の都内は、風速1m/s前後で風向が定まらない状況で、オキシダント濃度は、0.040 ppm前後であった。12時頃からは東京湾沿岸部で3m/s前後の南東の風が吹き、内陸の弱風域との間に収束線が形成された。14時には都内は南東の風の地点が多くなり、オキシダント濃度の高い地域が西へ広がった。14時には区東部、区西部、15時には区北部、区南部、多摩北部、多摩中部に注意報を発令した。15時には江戸川区南葛西で0.155ppmまで上昇した。南よりの風が強まり、16時以降は、オキシダント濃度が高い地域がゆっくり埼玉県側に移動し、16時には多摩中部、17時には区東部、区北部、区南部、18時には区西部、多摩北部の注意報を解除した。

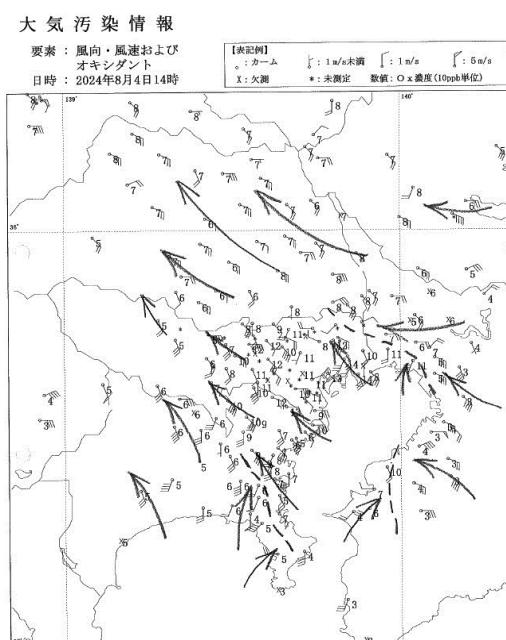
地上天気図 9時



館野状態曲線図 9時



収束線（破線） 14時



⑬2024年8月5日(月)

ア 地上天気図

関東地方は、日本海を中心を持つ高気圧に緩やかに覆われ概ね晴れた。

最高気温は、35.0°C（平年値31.8°C）と、平年より3.2°C高く猛暑日となつた。

イ 安定度と上層風

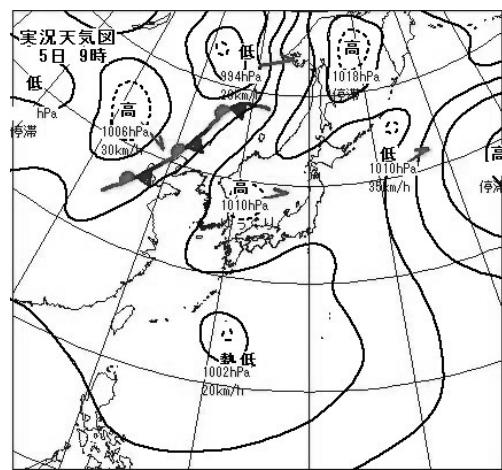
館野（つくば市）の9時の状態曲線図では、地上と上空1000mとの温度差は6.2°Cで、上空600m～800m付近は気温の変化が小さく安定であった。

東京スカイツリー立体測定局(150m、325m)では、9時に0.9°Cの気温の逆転があつた。

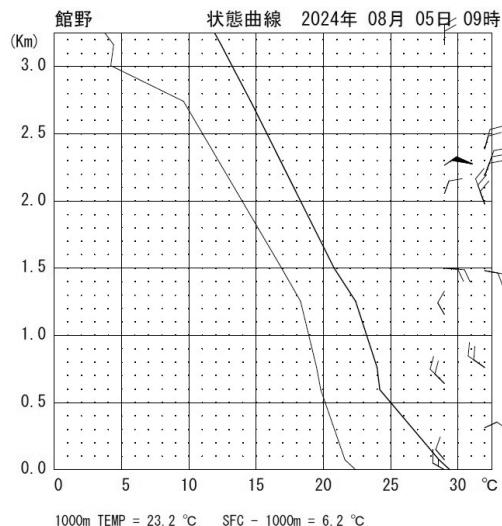
ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

9時の都内は、東京湾周辺では南東の風3m/sの地点もあつたが、そのほかは1～2m/sの北よりの風が吹き、東京湾沿岸部に収束線が形成され、オキシダント濃度は0.040ppm前後であつた。11時には南東の風が吹いている区東部でオキシダント濃度が急激に上昇し、12時には区南部の複数地点でオキシダント濃度が0.120ppmを超えた。13時には南東の風が3～4m/sの地点が多くなり、オキシダント濃度の高い地域は次第に北西へ広がつた。12時には区南部、13時には区西部、多摩北部、多摩中部に注意報を発令した。14時には小平市小川町で0.156ppmまで上昇した。その後は、次第に南よりの風が埼玉県側まで吹き上がり、15時には区西部、区南部、16時には多摩中部の注意報を解除した。

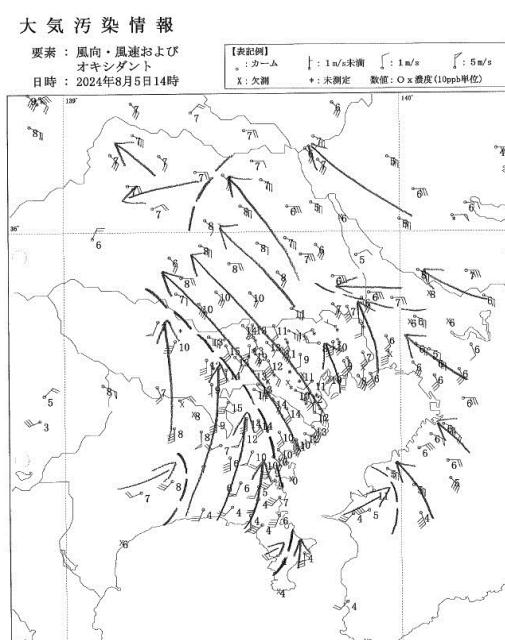
地上天気図 9時



館野状態曲線図 9時



収束線（破線） 14時



⑭2024年9月6日(金)

ア 地上天気図

関東地方は、太平洋高気圧の張り出しと東海上を北東進する台風第12号、日本海に停滞する前線との間で、相対的に高圧部となり晴れた。

最高気温は、33.5°C（平年値29.4°C）と、平年より4.1°C高く真夏日となった。

イ 安定度と上層風

館野（つくば市）の9時の状態曲線図では、地上と上空1000mとの温度差は5.8°Cで、上空500~800m付近には安定層が形成され、下層大気の状態は安定であった。

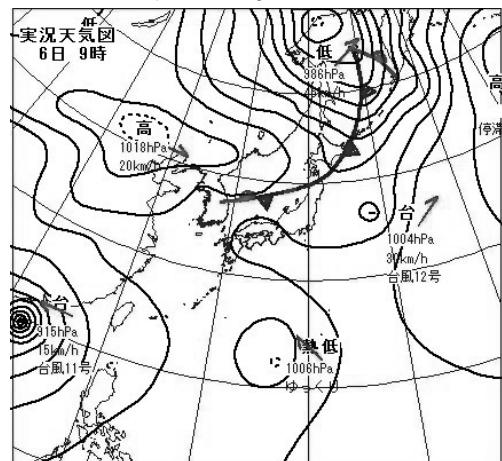
また、地上～上空1000m付近の風は北～西よりの風1m/s前後と弱い状態であった。

東京スカイツリー立体測定局(150m、325m)では、9時に2.6°Cの気温の逆転があった。

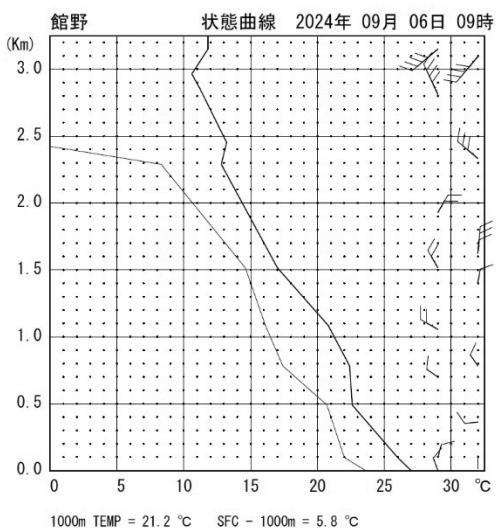
ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

9時の都内の風は、風速1～3m/sの北よりの風の地点が多く、オキシダント濃度は0.040ppm未満であった。11時頃からは東京湾海風が入り、区東部から区南部付近に収束線が形成され、12時には区北部から区東部付近に北上し、15時頃にかけてほとんど停滞した。14時には区南部、15時には区西部に注意報を発令した。15時には渋谷区宇田川町で0.140ppmまで上昇した。その後、南よりの風が強まり、16時以降は、収束線がゆっくり埼玉県側に北上し、16時には区南部、17時には区西部の注意報を解除した。

地上天気図 9時



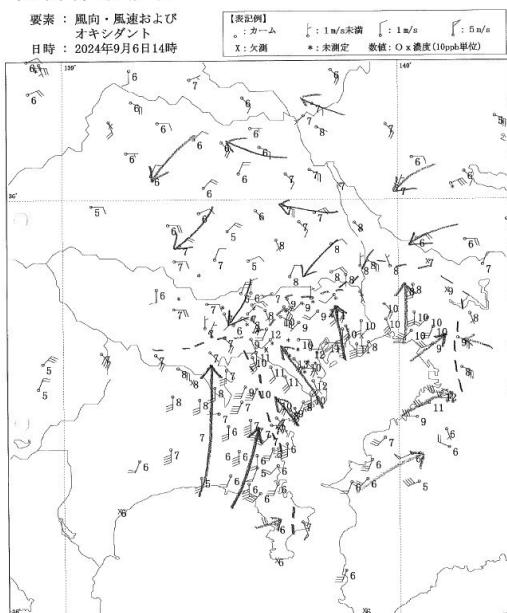
館野状態曲線図 9時



収束線（破線） 14時

大気汚染情報

要素：風向・風速および
オキシダント
日時：2024年9月6日14時



⑯2024年9月7日(土)

ア 地上天気図

関東地方は、東から張り出す高気圧に覆われて晴れた。

最高気温は、33.8°C（平年値29.3°C）と、平年より4.5°C高く真夏日となった。

イ 安定度と上層風

館野（つくば市）の9時の状態曲線図では、地上と上空1000mとの温度差は5.5°Cで、上空500～600m付近には逆転層が形成され、下層大気の状態は安定であった。

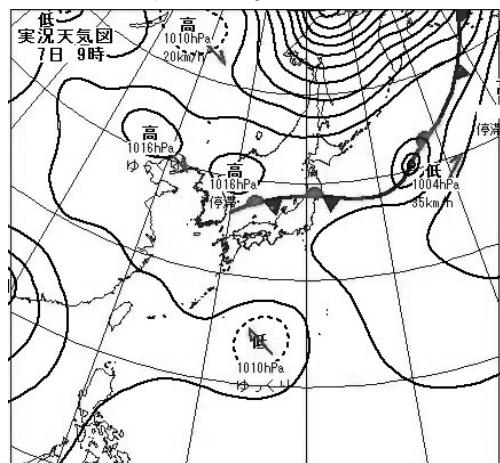
また、地上～上空500m付近の風は1～3m/sと弱い状態が続いた。

東京スカイツリー立体測定局(150m、325m)では、9時に2.3°Cの気温の逆転があった。

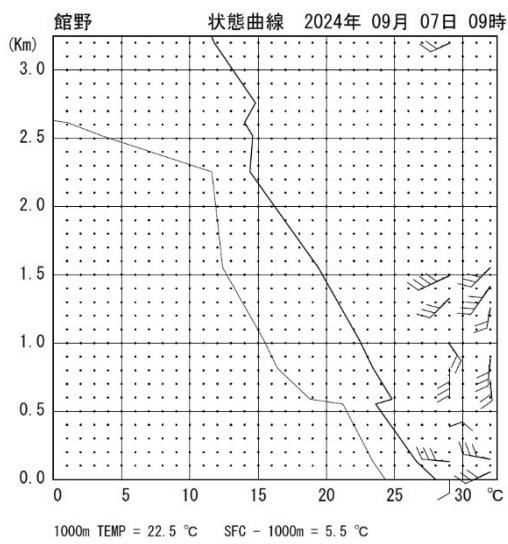
ウ 地上風とオキシダント濃度の状況

9時の都内の風は、風速1～2m/sと風が弱く、風向が定まらない状況であった。オキシダント濃度は0.050ppm前後の地点が多かった。10時頃には東京湾沿岸部で3m/s前後の南よりの風が吹きはじめ、内陸の弱風域との間に収束線が形成された。南よりの風が強まり、収束線はゆっくり北上し、12時には区北部から区西部付近に移動した。収束線付近ではオキシダント濃度が上昇した。13時には区北部、14時には区西部に注意報を発令した。13時には荒川区南千住で0.123ppmまで上昇した。南よりの風がさらに強まり、収束線が北上し、15時に全域解除した。

地上天気図 9時

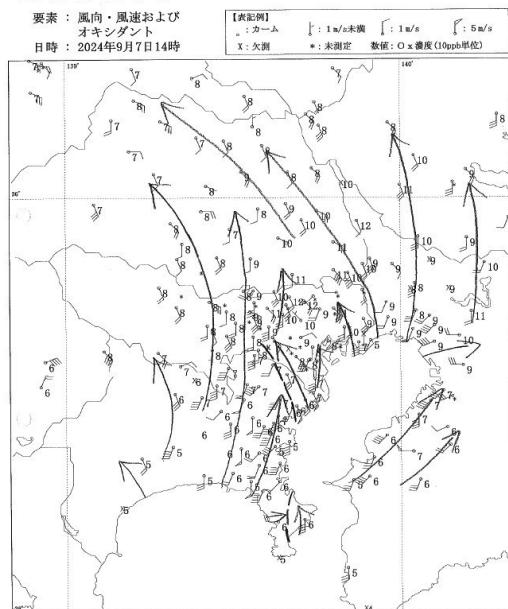


館野状態曲線図 9時



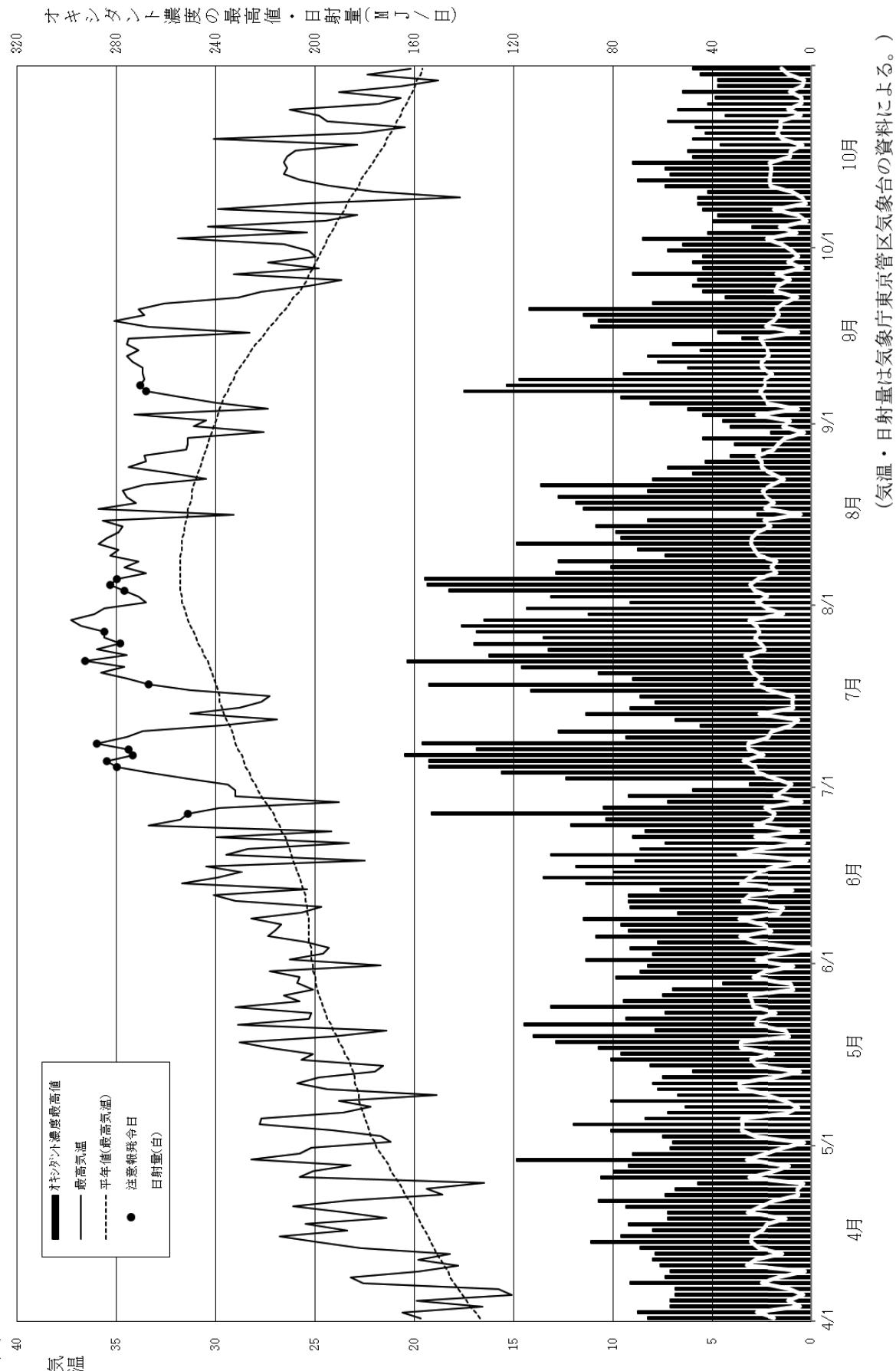
収束線（破線） 14時

大気汚染情報



(3) オキシダント濃度の最高値、最高気温
(°C)

(p p b)



II 緊急時の対応

1 光化学スモッグ常時監視体制

都内の大気汚染状況を把握するため、大気汚染常時測定局を設置し常時監視を行っている。これらの常時監視の結果に基づき光化学スモッグ注意報などの大気汚染緊急時対策を行うほか、環境基準の適合状況の評価など、大気汚染対策の推進に活用している。

なお、都内の光化学オキシダントの基準測定点は、一般環境大気測定局のうち、光化学オキシダントを測定している41局である。

(1) 大気汚染常時測定局

① 一般環境大気測定局

地域の一般的な環境の汚染状況を把握するもので、自動車や工場など、特定の発生源から直接影響を受けない場所で測定している。

・測定地点数 47か所

・測定項目 二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質、二酸化窒素、一酸化窒素、光化学オキシダント、炭化水素、気象（風向・風速・温度・湿度）、日射量

（注）一部の測定局で測定している項目もある。

② 自動車排出ガス測定局

自動車排出ガスによる大気汚染の状況を把握するもので、主要道路の沿道、交差点周辺などで測定している。

・測定地点数 35か所

・測定項目 二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質、二酸化窒素、一酸化窒素、炭化水素、気象（風向・風速・温度・湿度）

（注）一部の測定局で測定している項目もある。

光化学オキシダントは自動車排出ガス測定局では測定していない。

③ 立体測定局（スカイツリー 2019年4月から稼働）

高度別に大気汚染状況や気象状況を測定しており、高度による汚染濃度の変化や気温の変化などを知ることができる。

・測定項目 浮遊粒子状物質、微小粒子状物質、二酸化窒素、一酸化窒素、光化学オキシダント、気象（温度・湿度）

④ 檜原大気汚染測定所

大気汚染発生源の少ない檜原村に大気汚染測定所を設置し、常時測定を行っている。

・測定項目 二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質、二酸化窒素、一酸化窒素、光化学オキシダント、気象（風向・風速・温度・湿度）

(2) 情報の入手

① 気象庁からの情報

気象庁から大気汚染気象通報の提供を受けている（9時30分、15時30分）。

② 大気汚染予報の委託

気象予報会社と「大気汚染予報等の調査委託契約」を締結し、気象情報と大気汚染予報（10時、16時）を緊急時の発令の参考としている。

2 緊急時の措置と連絡体制

光化学スモッグによる都民の健康被害を防止するため、注意報等を発令したときは、次のことを行っている。

(1) 区市町村、関係機関、協力団体、報道機関等にメール・FAXにより周知している。

(2) 協力工場にメール・FAXにより周知し、燃料使用量等の削減を要請している。

(3) 教育庁が行っている学校に対する指導

① 日常の備え

対策組織及び情報の受信体制の整備

② 被害防止の措置

気象の観察及び児童生徒の健康管理に気をつける。

③ 被害者救護のための準備

保健室、医薬品等を整備し、被害発生時の措置や関係機関への連絡方法等を周知徹底する。

④ 緊急時の措置

努めて屋外の活動及び運動を取りやめ、校舎内に退避させる。

3 都民への情報の周知

(1) テレホンサービスによる情報の提供

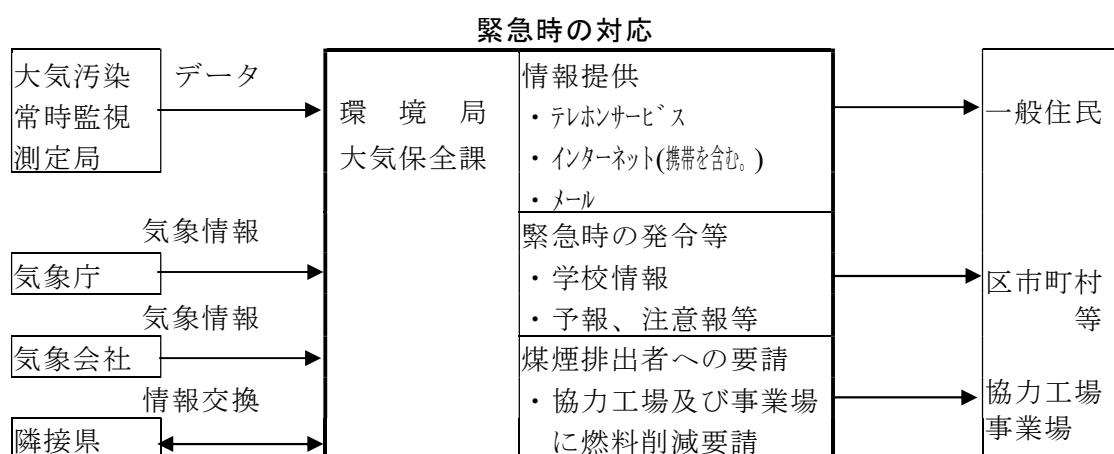
予報や注意報等の発令時の情報をわかりやすく的確に知らせるため、テレホンサービスを実施している（電話番号は31ページ参照）。

(2) 区市町村からの情報提供

東京都から提供される情報をもとに、区市町村は地域内の周知を図っている。

(3) インターネットによる情報提供

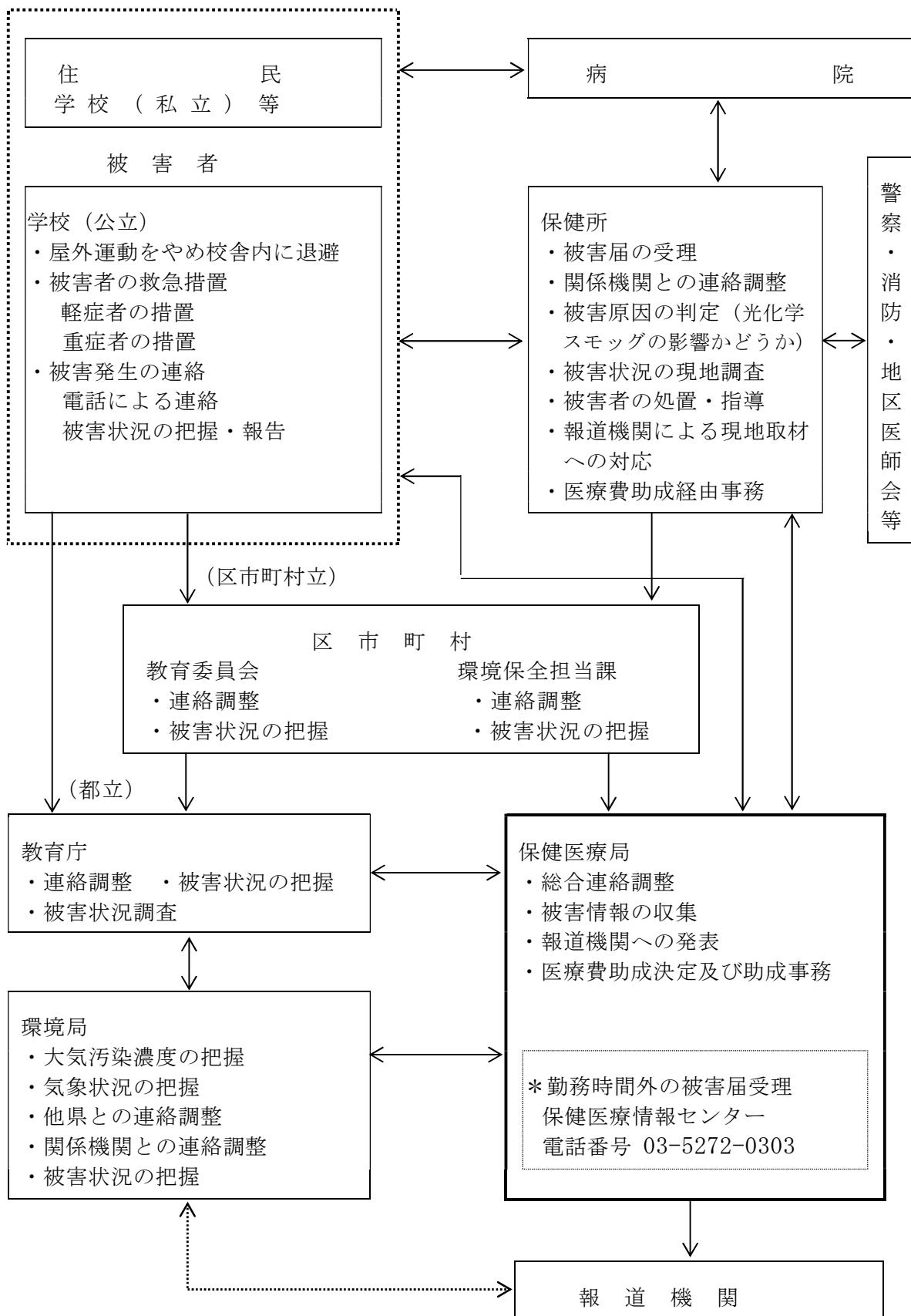
予報や注意報等の発令時の情報や、1時間ごとの都内の光化学オキシダント濃度の分布状況をインターネットで提供している。光化学スモッグ発令状況は、希望者にメールでも提供している（アドレスは31ページ参照）。



大気汚染緊急時（オキシダント）の基準及び措置一覧表

発令区分	発令域 地	発令の基準	解除の基準	措置		
				協力工場等	自動車等	一般
光化学 スモッグ 予 報		気象条件からみて、光化学スモッグ注意報等が発令されると予想されるとき又はオキシダント濃度が光化学スモッグ注意報発令基準に近い上、更に悪化することが予想されるとき。	発令の基準に掲げる状態がないと認められるとき又は光化学スモッグ注意報が発令されたとき。	燃料使用量の削減（これに準ずる措置を含む。）により、ばい煙の排出量を減少するよう自主的協力を求める。	不要不急の目的により、自動車等を使用しないことについて協力を求める。	ばい煙を排出するものに対し、ばい煙の排出量の減少について協力を求める。
光化学 スモッグ 注 意 報	区 東部 区 北部 区 西部 区 南部 多摩北部	オキシダントの大気中における含有率が0.12ppm以上である状態になり、気象条件からみて、その状態が継続すると認められるとき。	発令地域内の全ての基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が0.12ppm未満となり、気象条件からみて、その状態が悪化するおそれがなくなつたと認められるとき。	燃料使用量を通常使用量の20%程度削減（これに準ずる措置を含む。）するよう勧告する。	当該地域を通過しないよう協力を求める。	上記のほか、次の事項について、注意するよう周知する。 ① 屋外になるべく出ないようする。 ② 屋外運動は差し控えるようする。 ③ 光化学スモッグの被害を受けた人は、最寄りの保健所に連絡する。
光化学 スモッグ 警 報	多摩中部 多摩西部 多摩南部 の 8 地 域	オキシダントの大気中における含有率が0.24ppm以上である状態になり、気象条件からみて、その状態が継続すると認められるとき。	発令地域内の全ての基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が0.24ppm未満となり、気象条件からみて、その状態が悪化するおそれがなくなつたと認められるとき。	燃料使用量を通常使用量の40%程度削減（これに準ずる措置を含む。）するよう勧告する。		
光化学 スモッグ 重大緊急報		オキシダントの大気中における含有率が0.40ppm以上である状態になり、気象条件からみて、その状態が継続すると認められるとき。	発令地域内の全ての基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が0.40ppm未満となり、気象条件からみて、その状態が悪化するおそれがなくなつたと認められるとき。	燃料使用量を通常使用量の40%以上削減（これに準ずる措置を含む。）するよう命令する。	東京都公安委員会に対し、道路交通法の規定による措置をとるべきことを要請する。	
光化学 スモッグ 学校情報	上記の 8 地 域 と 同じ	(提供基準) オキシダントの大気中における含有率が0.10ppm以上である状態になり、気象条件からみて、その状態が継続又は悪化すると認められるとき。	(解除基準) オキシダントの大気中における含有率が0.10ppm未満となることが、気象条件からみて明らかであるとき。			上記①、②及び③について注意するよう周知する。

光化学スモッグの影響によると思われる被害発生時の対応



(参考)

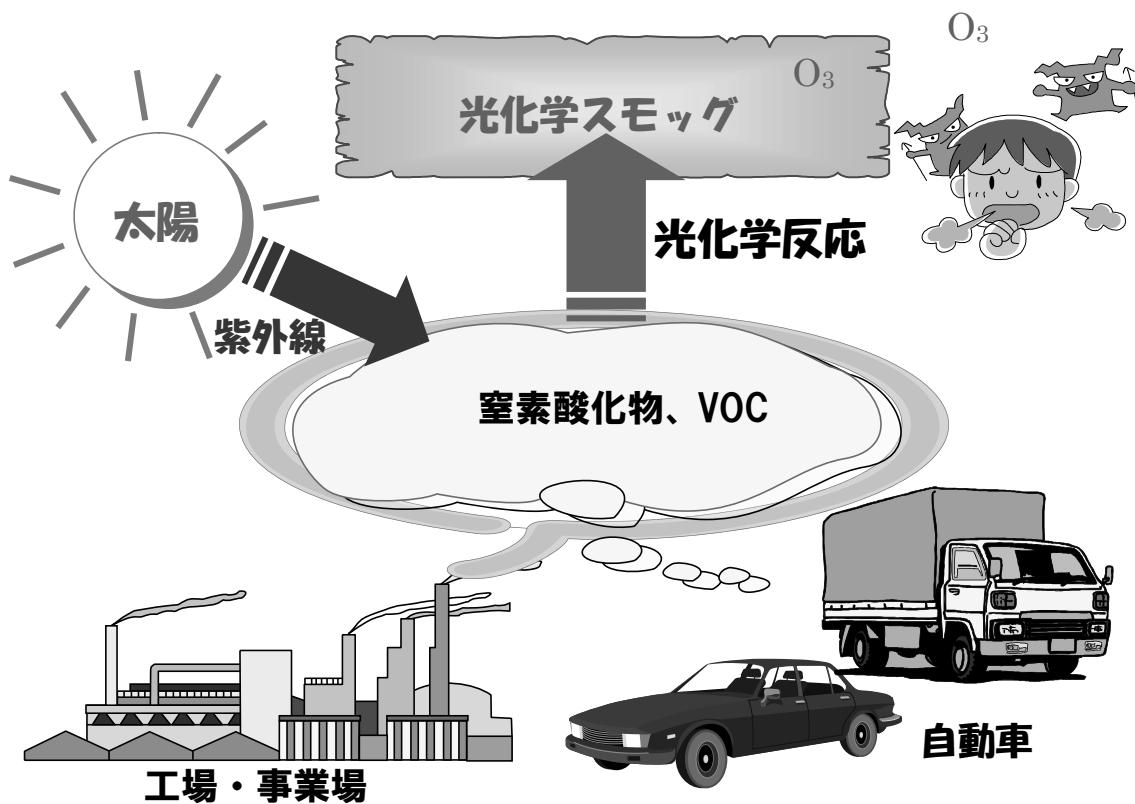
光化学スモッグについて

1 光化学スモッグとは

自動車や工場などから排出される窒素酸化物と揮発性有機化合物（VOC）が、太陽の強い紫外線を受けると光化学反応を起こし、オゾンなどの光化学オキシダント（酸化性物質）を発生させる。

気象条件によっては、この光化学オキシダントがたまり自くもやがかかったような状態になることがある。この状態を「光化学スモッグ」と呼んでいる。

光化学スモッグが我が国において注目されるようになったのは、昭和45年7月18日に杉並区でクラブ活動中の高校生たちが被害を受けたときからである。



2 発生しやすい条件

光化学スモッグは4月から10月にかけての日差しが強くて気温の高い、風の弱い日に発生しやすい。特に、太平洋高気圧に覆われる7～8月は、気温も高く紫外線も強く安定した天気が続くため、光化学スモッグが発生しやすい気象条件になる。

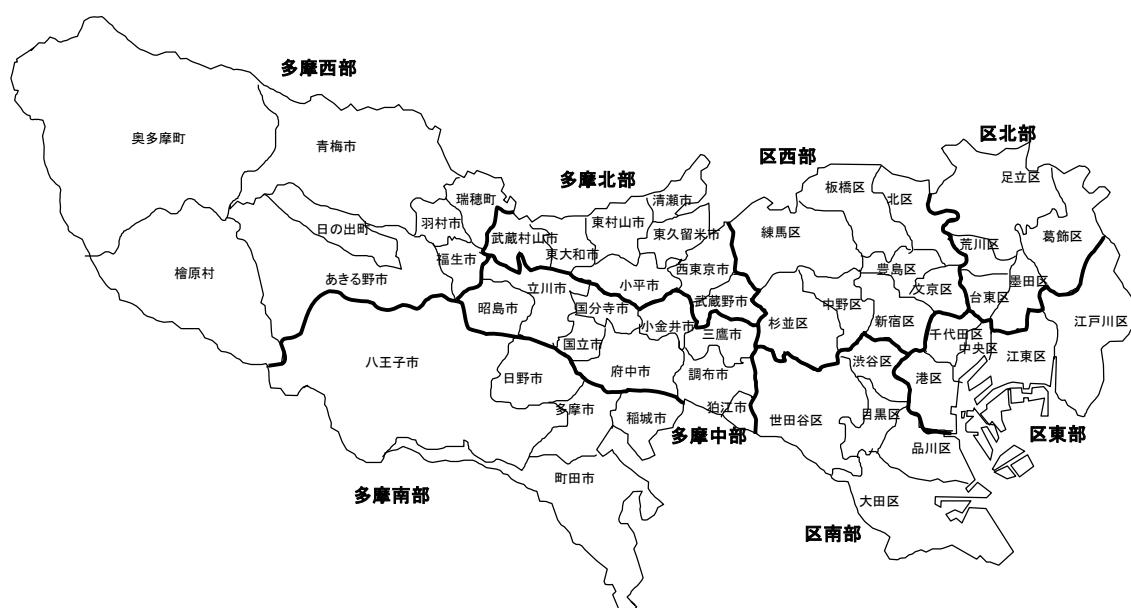
3 発令基準と発令地域

光化学スモッグが発生したとき又は発生しそうなときは、次の発令基準と発令地域に基づき予報や注意報を発令し、措置を行っている。

発令基準

段階	発令の基準	措置	
		緊急時協力工場・事業場	一般
学校情報	オキシダント濃度0.10ppm以上で継続するとき	_____	・屋外になるべく出ない
予報	高濃度汚染が予想されるとき	燃料使用量の削減要請	・屋外運動は差し控える
注意報	オキシダント濃度0.12ppm以上で継続するとき	通常の燃料使用量より20%程度削減勧告	・被害にあったときは保健所に届け出る
警報	オキシダント濃度0.24ppm以上で継続するとき	通常の燃料使用量より40%程度削減勧告	
重大 緊急報	オキシダント濃度0.40ppm以上で継続するとき	通常の燃料使用量より40%以上削減命令	

発令地域



4 情報提供

テレホンサービス及びインターネット（大気汚染地図情報、緊急時発令内容、被害情報）で情報を提供している。

- ・テレホンサービス : 03-5640-6880
- ・ホームページアドレス

(環境局) : <https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/>

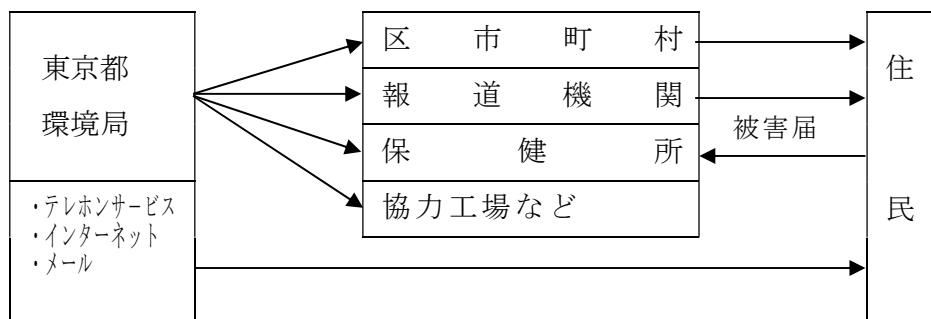
(緊急時発令情報:パソコン、携帯) : <https://www.ox.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/ox.php>

(緊急時発令情報:メール登録) : <https://www.ox.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/mail.php>

(被害届出情報) : https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kankyo/kankyo_eisei/taiki/smog/higai-jyoukyou

5 光化学スモッグの連絡方法

光化学スモッグの連絡は、区市町村を通じて知らせている。



6 光化学スモッグが発生したときの注意

- ・自動車等を使用しないようにする。
- ・屋外になるべく出ないようにする。
- ・屋外運動は差し控えるようにする。
- ・光化学スモッグの被害を受けた場合は、最寄りの保健所に連絡する。

(注) 光化学スモッグによる健康への影響

光化学スモッグによる影響としては、目の刺激や喉の刺激があり、目がチカチカする、喉が痛いなどの症状が出る場合がある。

参 考 資 料

- 1 2024年の状況
- 2 年別推移
- 3 東京都大気汚染緊急時対策実施要綱（オキシダント）等

2024年の状況

2024年光化学スモッグ緊急時措置等明細

発令時刻に、◆表記がある場合は、前日からの予報継続中となります。

月 日 (曜日)	予 報		注 意 報			学 校 情 報			オキシダント最高濃度			被 告 届 出 数 人	
	日 数	発令地域	発令時間	日 数	発令地域	発令時間	日 数	提供地域	提供時間	時 刻	測 定 局	濃 度 ppm	
4月28日 (日)							1	区西部 多摩北部 多摩中部	14:20~ 15:20 14:20~ 16:20 14:20~ 16:20	14 14 14	練馬区石神井町 武蔵野市関前 調布市深大寺南町	0.108 0.119 0.114	
5月18日 (土)							2	多摩北部 多摩南部	17:20~ 18:20 16:20~ 17:20	17 16 16	東大和市奈良橋 町田市能ヶ谷 町田市金森	0.103 0.101 0.101	
5月21日 (火)							3	区南部	14:20~ 17:20	15	大田区東糀谷	0.116	
6月19日 (水)							4	多摩北部	16:20~ 17:20	16	清瀬市上清戸	0.105	
6月26日 (水)				1	区南部 多摩南部	13:20~ 15:20 15:20~ 17:20	5	区東部 区南部 多摩中部 多摩南部	13:20~ 15:20 13:20~ 15:20 15:20~ 17:20 14:20~ 18:20	14 14 15 15	港区高輪 大田区東糀谷 狛江市中和泉 町田市金森	0.121 0.153 0.131 0.135	
7月3日 (水)							6	区西部 区南部 多摩北部 多摩中部 多摩南部	15:20~ 18:20 16:20~ 17:20 15:20~ 18:20 15:20~ 17:20 15:20~ 16:20	16 16 16 15 15	練馬区石神井町 渋谷区宇田川町 武蔵野市関前 狛江市中和泉 町田市能ヶ谷	0.125 0.116 0.115 0.110 0.104	
7月4日 (木)	1	区東部 区北部 区西部 区南部 多摩北部 多摩中部 多摩西部 多摩南部	10:20~ 14:20 10:20~ 14:20 10:20~ 15:20 10:20~ 15:20 10:20~ 16:20 10:20~ 14:20 10:20~ 16:20 10:20~ 13:20				7	区東部 区西部 区南部 多摩北部 多摩中部 多摩西部 多摩南部	12:20~ 14:20 13:20~ 15:20 12:20~ 15:20 14:20~ 18:20 13:20~ 17:20 16:20~ 18:20 13:20~ 17:20	12 13 14 13 14 15 16 13 14	港区高輪 荒川区南千住 練馬区石神井町 大田区東糀谷 武蔵野市関前 府中市四谷 福生市本町 町田市金森 町田市能ヶ谷	0.106 0.095 0.119 0.120 0.125 0.151 0.135 0.154 0.154	
7月5日 (金)	2	区西部 区南部 多摩北部 多摩中部 多摩西部 多摩南部	10:20~ 17:20 10:20~ 16:20 10:20~ 15:20 10:20~ 15:20 10:20~ 16:20 10:20~ 14:20	3	区西部	17:20~ 18:20	8	区東部 区西部 区南部 多摩北部 多摩中部 多摩西部 多摩南部	13:20~ 19:20 14:20~ 19:20 13:20~ 16:20 17:20~ 18:20 14:20~ 20:20 14:20~ 19:20 16:20~ 19:20 14:20~ 19:20	17 17 14 17 16 15 16 15	江戸川区南葛西 練馬区石神井町 渋谷区宇田川町 目黒区碑文谷 小平市小川町 府中市四谷 福生市本町 町田市金森 町田市能ヶ谷	0.118 0.139 0.107 0.112 0.154 0.140 0.139 0.145	

月 日 (曜日)	予 報		注 意 報			学 校 情 報			オキシダント最高濃度			被 害 届 出 数 人	
	日 数	発令地域	発令時間	日 数	発令地域	発令時間	日 数	提供地域	提供時間	時 刻	測 定 局	濃 度 ppm	
7月6日 (土)				4	区東部 区西部 区南部 多摩北部 多摩中部 多摩南部	14:20～ 17:20 15:20～ 17:20 14:20～ 17:20 14:20～ 17:20 15:20～ 17:20	9	区東部 区北部 区西部 区南部 多摩北部 多摩中部 多摩南部	13:20～ 17:20 14:20～ 17:20 14:20～ 17:20 13:20～ 17:20 14:20～ 18:20 13:20～ 18:20 13:20～ 18:20	14 15 15 15 14 15 14 15	港区台場 荒川区南千住 杉並区久我山 練馬区石神井町 品川区八潮 武蔵野市関前 狛江市中和泉 町田市能ヶ谷	0.144 0.108 0.125 0.125 0.164 0.145 0.135 0.139	
7月7日 (日)				5	区北部 区西部	13:20～ 15:20 14:20～ 15:20	10	区東部 区北部 区西部 多摩北部	12:20～ 14:20 12:20～ 15:20 13:20～ 16:20 15:20～ 16:20	12 13 14 15	江戸川区春江町 足立区西新井 練馬区北町 武蔵野市関前	0.109 0.135 0.133 0.120	
7月8日 (月)				6	区北部 区西部	14:20～ 17:20 14:20～ 17:20	11	区北部 区西部 多摩北部 多摩中部	12:20～ 18:20 13:20～ 18:20 16:20～ 18:20 15:20～ 17:20	14 15 15 16 16 15	足立区西新井 練馬区北町 練馬区石神井町 練馬区北町 武蔵野市関前 狛江市中和泉	0.140 0.157 0.157 0.157 0.131 0.105	
7月10日 (水)							12	区西部	13:20～ 15:20	13	中野区若宮	0.101	
7月17日 (水)							13	区西部 区南部	17:20～ 20:20 18:20～ 19:20	17 18	練馬区石神井町 渋谷区宇田川町 目黒区碑文谷	0.113 0.105 0.105	
7月18日 (木)	3	区東部 区北部 区西部 区南部 多摩北部 多摩中部 多摩西部 多摩南部	10:20～ 17:20 10:20～ 17:20 10:20～ 17:20 10:20～ 17:20 10:20～ 14:20 10:20～ 13:20 10:20～ 17:20 10:20～ 14:20	7	多摩北部 多摩中部 多摩西部 多摩南部	14:20～ 16:20 13:20～ 16:20 15:20～ 17:20 13:20～ 16:20	14	区東部 区北部 区西部 多摩北部 多摩中部 多摩西部 多摩南部	15:20～ 17:20 16:20～ 18:20 14:20～ 15:20 13:20～ 16:20 13:20～ 16:20 15:20～ 17:20 13:20～ 16:20	15 16 14 13 14 13 15 14	江戸川区春江町 荒川区南千住 杉並区久我山 大田区東糀谷 小平市小川町 狛江市中和泉 福生市本町 多摩市愛宕 町田市能ヶ谷	0.115 0.115 0.113 0.094 0.154 0.149 0.129 0.134 0.134	
7月21日 (日)							15	区東部 区北部 区西部	13:20～ 14:20 14:20～ 16:20 15:20～ 16:20	13 14 15 15	江戸川区南葛西 足立区西新井 板橋区氷川町 練馬区北町	0.117 0.117 0.102 0.102	

月 日 (曜日)	予 報		注 意 報			学 校 情 報			オキシダント最高濃度			被 害 届 出 数 人	
	日 数	発令地域	発令時間	日 数	発令地域	発令時間	日 数	提供地域	提供時間	時 刻	測 定 局	濃 度 ppm	
7月22日 (月)	4	区東部 区北部 区西部 区南部 多摩北部 多摩中部 多摩西部 多摩南部	10:20～ 16:20 10:20～ 16:20 10:20～ 15:20 10:20～ 16:20 10:20～ 16:20 10:20～ 14:20 10:20～ 16:20 10:20～ 16:20	8	区西部 多摩中部	15:20～ 16:20 14:20～ 17:20 13:20～ 17:20 15:20～ 16:20 14:20～ 17:20 13	16	区東部 区北部 区西部 区南部 多摩北部 多摩中部 多摩北部 多摩南部	13:20～ 15:20 16:20～ 17:20 14:20～ 17:20 13:20～ 17:20 15:20～ 16:20 14:20～ 17:20 13:20～ 17:20 12:20～ 14:20 12:20～ 14:20 13:20～ 15:20	13 16 15 15 15 14 13 15	江戸川区南葛西 中央区晴海 荒川区南千住 杉並区久我山 大田区東糀谷 武蔵野市関前 狛江市中和泉 青梅市東青梅 町田市能ヶ谷	0.108 0.103 0.104 0.149 0.132 0.158 0.163 0.068 0.130	
7月23日 (火)							17	区北部 区西部 多摩北部	12:20～ 14:20 12:20～ 14:20 13:20～ 15:20	12 13 13	足立区西新井 練馬区石神井町 清瀬市上清戸	0.130 0.118 0.105	
7月24日 (水)							18	区東部	12:20～ 14:20	12	中央区晴海	0.106	
7月25日 (木)				9	区西部 多摩北部	14:20～ 15:20 14:20～ 15:20	19	区西部 区南部 多摩北部 多摩中部	13:20～ 16:20 13:20～ 14:20 13:20～ 16:20 13:20～ 15:20	14 13 14 13	練馬区石神井町 目黒区碑文谷 清瀬市上清戸 狛江市中和泉	0.136 0.102 0.125 0.112	
7月27日 (土)				10	区東部 区北部 区西部	15:20～ 18:20 17:20～ 18:20 14:20～ 16:20	20	区東部 区北部 区西部 区南部 多摩北部	13:20～ 18:20 13:20～ 19:20 13:20～ 19:20 16:20～ 18:20 14:20～ 16:20	16 17 14 14 16 14 14	江東区大島 荒川区南千住 板橋区氷川町 練馬区北町 品川区八潮 武蔵野市関前 西東京市南町	0.135 0.132 0.131 0.131 0.126 0.109 0.109	
7月28日 (日)	5	区東部 区北部 区西部 区南部 多摩北部 多摩中部 多摩西部 多摩南部	10:20～ 15:20 10:20～ 15:20 10:20～ 15:20 10:20～ 15:20 10:20～ 15:20 10:20～ 15:20 10:20～ 15:20 10:20～ 15:20				21	区東部 区南部	12:20～ 17:20 13:20～ 15:20	13 15 15 13 15 15 14	江戸川区南葛西 葛飾区鎌倉 杉並区久我山 品川区八潮 武蔵野市関前 狛江市中和泉 福生市本町 町田市金森	0.141 0.093 0.058 0.127 0.052 0.068 0.046 0.066	
7月29日 (月)							22	区北部 区西部 区南部	14:20～ 15:20 14:20～ 15:20 12:20～ 14:20	14 14 12	足立区西新井 板橋区氷川町 目黒区碑文谷	0.115 0.104 0.127	
7月31日 (水)							23	多摩南部	16:20～ 17:20	16	町田市能ヶ谷	0.105	

月 日 (曜日)	予 報		注 意 報		学 校 情 報			オキシダント最高濃度			被 害 届 出 数 人		
	日 数	発令地域	発令時間	日 数	発令地域	発令時間	日 数	提供地域	提供時間	時 刻	測 定 局	濃 度 ppm	
8月2日 (金)				24	多摩南部	16:20～ 18:20	16	町田市金森	0.105				
8月3日 (土)				25	区東部 区北部 区西部 区南部 多摩北部 多摩中部	13:20～ 16:20 14:20～ 17:20 12:20～ 15:20 14:20～ 18:20 14:20～ 16:20	13 14 15 14 12 15	江戸川区南葛西 江戸川区南葛西 足立区西新井 練馬区石神井町 目黒区碑文谷 武蔵野市関前	0.111 0.111 0.107 0.146 0.128 0.139				
8月4日 (日)				26	区東部 区北部 区西部 区南部 多摩北部 多摩中部	14:20～ 17:20 15:20～ 17:20 14:20～ 18:20 15:20～ 17:20 15:20～ 18:20 15:20～ 16:20	15 15 16 15 15	江戸川区南葛西 荒川区南千住 練馬区石神井町 品川区八潮 西東京市南町 調布市深大寺南町	0.155 0.133 0.137 0.139 0.141 0.134				
8月5日 (月)				27	区東部 区北部 区西部 区南部 多摩北部 多摩中部	11:20～ 15:20 13:20～ 15:20 13:20～ 16:20 12:20～ 16:20 13:20～ 17:20 13:20～ 16:20 13:20～ 15:20	13 13 13 13 14 14	港区高輪 荒川区南千住 杉並区久我山 大田区東糀谷 小平市小川町 府中市四谷 町田市能ヶ谷	0.126 0.112 0.149 0.152 0.156 0.142 0.151				
8月11日 (日)				28	区東部 区北部 区南部	13:20～ 15:20 14:20～ 15:20 12:20～ 14:20	13 14 12	港区高輪 荒川区南千住 品川区豊町	0.108 0.119 0.110				
8月21日 (水)				29	多摩南部	15:20～ 16:20	15	町田市能ヶ谷	0.109				
9月6日 (金)				30	区東部 区北部 区西部 区南部 多摩北部 多摩中部	14:20～ 17:20 14:20～ 18:20 14:20～ 18:20 13:20～ 17:20 15:20～ 16:20 15:20～ 16:20	14 15 15 15 15	港区高輪 荒川区南千住 中野区若宮 渋谷区宇田川町 武蔵野市関前 調布市深大寺南町	0.123 0.121 0.135 0.140 0.118 0.109				
9月7日 (土)				31	区東部 区北部 区西部 区南部	12:20～ 15:20 12:20～ 16:20 13:20～ 15:20 13:20～ 14:20	13 13 14 14 13	江東区大島 荒川区南千住 板橋区氷川町 練馬区北町 渋谷区宇田川町	0.111 0.123 0.122 0.122 0.106				

月 日 (曜日)	予 報		注 意 報			学 校 情 報			オキシダント最高濃度			被害 届出 数 人	
	日 数	発令地域	発令時間	日 数	発令地域	発令時間	日 数	提供地域	提供時間	時 刻	測 定 局	濃度 ppm	
9月8日 (日)							32	区北部 区西部	14:20～ 16:20 14:20～ 16:20	14 14	足立区西新井 板橋区氷川町	0.118 0.115	
9月20日 (金)							33	多摩北部 多摩中部	16:20～ 17:20 15:20～ 17:20	16 15 15	小平市小川町 府中市四谷 調布市深大寺南町	0.114 0.104 0.104	

(3) 各月の気象概況

4 月	関東地方は、中旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。上旬と下旬は短い周期で低気圧や前線の影響を受けたため、曇りや雨の日が多く、大雨の日もあった。最高気温は平年より高い日が多くなり、期間の中頃からは25°C以上となる日もあった。日照時間は少なく、月降水量は平年並みだった。 東京地方の平均気温は17.1°C(平年より+2.8°C)、最高気温の月平均は21.8°C(同+2.4°C)、最低気温の月平均は13.1°C(同+3.3°C)で、平均気温・最高気温・最低気温いずれも平年よりかなり高かった。日照時間の月合計は150.3時間で、平年の84%と平年より少なかった。降水量の月合計は115.5mmで平年の86%で平年並であった。
5 月	関東地方は、天気が周期的に変化した。高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、大雨の日もあった。最高気温は平年よりかなり高く、日照時間と降水量はともに平年より多かった。 東京地方の平均気温の月平均が20.0°C(平年より+1.2°C)、最高気温の月平均は24.8°C(同+1.2°C)、最低気温の月平均は15.6°C(同+1.0°C)で、平均気温・最高気温・最低気温いずれも平年より高かった。日照時間の月合計は185.5時間で、平年の103%と平年並であった。降水量の月合計は201.5mmで平年の144%と平年より多かった。
6 月	関東地方は、中旬にかけて高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、上空の寒気や低気圧の影響で雨や雷雨の日があった。後半は前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなり、大雨の日もあった。最高気温は平年よりかなり高く、日照時間と降水量はともに平年よりかなり多かった。気象庁は平年より14日遅い21日に関東甲信地方の「梅雨入り」を発表し確定した。 東京地方の平均気温の月平均は23.1°C(平年より+1.2°C)、最高気温の月平均は27.7°C(同+1.6°C)、最低気温の月平均は19.3°C(同+0.8°C)で、平均気温・最高気温は平年よりかなり高く、最低気温は平年より高かった。日照時間の月合計は158.1時間で、平年の127%と平年より多かった。降水量の月合計は350.0mmで平年の209%と平年よりかなり多かった。
7 月	関東地方は、期間のはじめと終わりを中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、前線や湿った空気の影響で大雨や雷雨となる日があった。最高気温は平年よりかなり高かく、日照時間は平年より多く、降水量は平年並であった。気象庁は平年より1日早い18日に関東甲信地方の「梅雨明け」を発表し確定した。 東京地方の平均気温の月平均は28.7°C(平年より+3.0°C)、最高気温の月平均は33.5°C(同+3.6°C)、最低気温の月平均は25.0°C(同+2.6°C)で、いずれも平年よりかなり高かった。日照時間の月合計は199.6時間で平年の132%、降水量の月合計は206.5mmで平年の132%とともに平年より多かった。
8 月	関東地方は、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、湿った空気の影響で雨や雷雨の日もあった。また、16日は台風第7号の影響で、期間の終わりは台風第10号の影響で大雨となったところがあった。最高気温は平年よりかなり高かく、日照時間は平年より多く、降水量は平年よりかなり多かった。 東京地方の平均気温の月平均は29.0°C(平年より+2.1°C)、最高気温の月平均は33.6°C(同+2.3°C)、最低気温の月平均は25.7°C(同+2.2°C)で、いずれも平年よりかなり高かった。日照時間の月合計は189.8時間で平年の109%と平年並で、降水量の月合計は381.0mmで平年の246%とかなり多かった。
9 月	関東地方は、期間の中頃にかけて高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、低気圧や前線、湿った空気の影響で雨や雷雨の日もあった。期間の終わりは低気圧や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。最高気温は平年よりかなり高く、日照時間は平年より多く、降水量は平年より少なかった。 東京地方の平均気温の月平均は26.6°C(平年より+3.3°C)、最高気温の月平均は30.9°C(同+3.4°C)、最低気温の月平均は23.5°C(同+3.2°C)で、いずれも平年よりかなり高かった。日照時間の月合計は160.8時間で平年の127%と平年より多く、降水量の月合計は111.5mmで平年の50%とかなり少なかった。
10 月	関東地方は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨の日もあった。最高気温は平年よりかなり高く、日照時間は平年より少なく、降水量は平年並だった。 東京地方の平均気温の月平均は20.6°C(平年より+2.6°C)、最高気温の月平均は24.5°C(同+2.5°C)、最低気温の月平均は17.4°C(同+2.6°C)で、いずれも平年よりかなり高く、日照時間の月合計は111.7時間で平年の86%と平年より少なく、降水量の月合計は174.5mmで平年の74%と平年並だった。

(2) 予報の月別発令日数

月年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計	初回、最終発令日
									初回 最終
2024				5				5	7月 4日 7月 28日
2023				1 (1)				1	7月 25日 7月 25日
2022			1 (1)	1				2	6月 29日 7月 2日
2021					3			3	8月 26日 8月 28日
2020								0	— —
2019		2			1			3	5月 26日 8月 3日
2018					4			4	8月 1日 8月 4日
2017		1	1	3				5	5月 21日 7月 17日
2016								0	— —
2015				6	2			8	7月 12日 8月 2日
2014			2	3				5	6月 1日 7月 26日
2013				6	5			11	7月 9日 8月 12日
2012				2				2	7月 26日 7月 27日
2011								0	— —
2010				3	2			5	7月 21日 8月 31日
2009								0	— —
2008		1						1	5月 23日 5月 23日
2007				1	4			5	7月 27日 8月 26日
2006			1	2	4			7	6月 29日 8月 6日
2005				2	1	4		7	7月 15日 9月 19日
2004			1	3	2			6	6月 24日 8月 13日
2003					1	1		2	8月 22日 9月 3日
2002				2	4			6	7月 30日 8月 7日
2001				1	1			2	7月 24日 8月 1日
2000			3	2				5	6月 16日 7月 19日
1999								0	— —
1998								0	— —
1997								0	— —
1996								0	— —
1995				1	1			2	7月 25日 8月 9日
1994								0	— —
1993								0	— —
1992			1	8(2)				9(2)	6月 3日 7月 29日
1991			3(2)	6				9(2)	6月 11日 7月 31日
1990		1	1	5	4(3)		1	12(3)	5月 23日 9月 11日
1989								0	— —
1988						1		1	8月 23日 8月 23日
1987			1 (1)					1(1)	6月 5日 6月 5日
1986				1				1	6月 13日 6月 13日
1985		1	1	4	1			7	5月 1日 8月 26日
1984		1(1)		3(2)	6(3)			10(6)	5月 3日 8月 18日
1983				2	6	2	2	12	6月 22日 9月 6日
1982		1	2	1	1			5	5月 11日 8月 6日
1981		1	1	2	1			5	5月 23日 8月 10日
1980		1	4	2	1			8	5月 30日 8月 12日
1979			2	6	2			10	6月 17日 8月 11日
1978		4		6	10			20	5月 13日 8月 30日
1977		3	3	7	5			18	5月 6日 8月 30日
1976	1	2	1	4	6	1		15	4月 17日 9月 1日
1975		4	8	8(1)	9(1)	11	1	41(2)	5月 27日 10月 4日
1974	2	5(2)		5	3	9(2)	1	25(4)	4月 12日 9月 5日
1973	6	6	7(1)	18(12)	15(6)	5		57(19)	4月 11日 9月 24日
1972	2	6(3)	9(3)	6(5)	9(9)	4(1)		37(21)	4月 27日 10月 8日
1971			5(5)	11(11)	5(5)	2(2)		23(23)	
1970	—	—	—	—	4(4)			4 (4)	
過去10年の平均	0.0	0.3	0.4	1.4	1.0	0.0	0.0	3.1	
平均	0.2	0.8	1.2	2.6	2.3	0.6	0.0	7.6	

(注) 1 () は前日予報で内書き

2 発令日は、1972年以降の当日予報

3 平均は本年を除く1972年以降及び過去10年の平均値

(4) 注意報の地域別・月別発令日数

年	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
2024	区東部				2	1			3
	区北部				3	1	1		5
	区西部				7	3	2		12
	区南部			1	1	3	1		6
	多摩北部				4	3			7
	多摩中部				5	3			8
	多摩西部				2				2
	多摩南部			1	4				5
計				2	28	14	4		48
2023	区東部		1		1				2
	区北部		1		2				3
	区西部		1		2				3
	区南部		1		1				2
	多摩北部				3				3
	多摩中部				3				3
	多摩西部								
	多摩南部				2				2
計			4		14				18
2022	区東部			1		1			2
	区北部			1		1			2
	区西部			3	2	2			7
	区南部			1	1	2			4
	多摩北部			2	1	1			4
	多摩中部			1	1	1			3
	多摩西部			1					1
	多摩南部			1					1
計				11	5	8			24
2021	区東部					1			1
	区北部					2			2
	区西部			1		2			3
	区南部					1			1
	多摩北部			1	1	1			3
	多摩中部			1		1			2
	多摩西部			1					
	多摩南部			1		2			3
計				4	1	10			15

(5) 警報の発令状況

年	発令日	発令時間	最高濃度及び測定点名
1975	7月15日	12時10分～13時20分	0.25ppm 練馬区石神井台
1974	5月18日	14時10分～15時20分	0.26ppm 調布市深大寺南町

(7) 学校情報の地域別・月別提供日数

年	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
2024	区東部			1	10	4	2		17
	区北部				9	4	3		16
	区西部	1			15	3	3		22
	区南部		1	1	10	4	2		18
	多摩北部	1	1	1	11	3	2		19
	多摩中部	1		1	8	3	2		15
	多摩西部				3				3
	多摩南部		1	1	6	3			11
	計	3	3	5	72	24	14		121
2023	区東部		1	1	2				4
	区北部		2		5				7
	区西部		2	2	6		1		11
	区南部		1	2	3				6
	多摩北部		1	3	5	1	2		12
	多摩中部		2	1	4				7
	多摩西部		2	1	2				5
	多摩南部		2	2	3	1			8
	計		13	12	30	2	3		60
2022	区東部			1		2			3
	区北部			3	2	3			8
	区西部	1		4	5	4			14
	区南部			2	2	2			6
	多摩北部	1		4	3	1			9
	多摩中部	1	1	2	3	1			8
	多摩西部		1	2	1				4
	多摩南部	1	1	2	1	1			6
	計	4	3	20	17	14			58
2021	区東部			1	1	2			4
	区北部			1	3	2			6
	区西部		1	3	4	2			10
	区南部		1	1	1	2			5
	多摩北部		1	4	1	3			9
	多摩中部		1	3	2	4			10
	多摩西部			3		2			5
	多摩南部		1	4	1	3			9
	計		5	20	13	20			58

(8) 光化学スモッグ注意報の連続発令期間（3日間以上）

年	9日間	8日間	7日間	6日間	5日間	4日間	3日間
2024					7/4～7/8		8/3～8/5
2023							
2022							6/30～7/2
2021							8/26～8/28
2020							
2019							5/25～5/27
2018						8/1～8/4	
2017							
2016							
2015						7/30～8/2	7/10～7/12
							7/25～7/27
2014							5/31～6/2
							7/23～7/25
2013			7/8～7/14		8/8～8/12		
2012							7/25～7/27
2011			8/7～8/13				
2010				7/20～7/25			8/29～8/31
2009							
2008							7/12～7/14
2007						8/25～8/28	
2006					8/2～8/6		7/13～7/15
2005							7/15～7/18
2004							6/24～6/26
2003							7/15～7/18
2002							8/12～8/14
2001							8/21～8/24
2000							7/30～8/2
1999							8/4～8/7
1998							
1997							6/26～6/28
1996							7/23～7/25
1995					7/31～8/5	8/7～8/10	7/24～7/26
1994							
1993							
1992					7/19～7/23	7/26～7/29	
1991						6/25～6/28	7/23～7/25
1990							
1989							8/8～8/10
1988							8/21～8/23
1987							7/25～7/27
1986							
1985							7/23～7/25
1984					7/2～7/6 8/6～8/10		8/17～8/19
1983						7/26～7/29 9/2～9/5	
1982				6/8～6/13			5/27～5/29
1981					7/15～7/19		
1980							
1979							7/29～7/31
1978						8/10～8/13 8/27～8/30	
1977							7/4～7/6 7/14～7/16
1976							
1975					8/27～9/1	8/11～8/15	5/28～5/30
1974							9/10～9/13 8/3～8/6
1973	8/4～8/12		7/4～7/10 7/13～7/19				5/17～5/19
1972		7/29～8/5					5/10～5/12
1971						7/16～7/19	8/8～8/10

(13) 東京都及び近県における光化学スモッグ発令状況及び被害状況

(単位：日　ただし被害届は人)

年	2022							2023							2024									
	4	5	6	7	8	9	10	計	4	5	6	7	8	9	10	計	4	5	6	7	8	9	10	計
予報	東京		1	1				2				1				1				5				5
	神奈川																	2		11	5	1		19
	千葉																							
	埼玉		3	3	4			10		1		7				8				11	5	1		17
	群馬																							
	栃木																							
	茨城		3	1	1			5		1	1	1				3				4			1	5
	山梨																							
注意報	東京		3	2	2			7		1		3				4			1	9	3	2		15
	神奈川		1	1	1	1		4				2				2			1	7	4			12
	千葉		2	2	3			7		1		5				6			1	12	1	1		15
	埼玉		3	2	3			8		1		5		1		7				10	3	1		14
	群馬		2	2				4		1		3				4			1	3				4
	栃木			1				1		1		2				3								
	茨城		1	2				3				1				1				2				2
	山梨		1	1				2				1				1								
被害届	東京																							
	神奈川																		5	2				7
	千葉																							
	埼玉																							
	群馬																							
	栃木																							
	茨城																							
	山梨																							

(注) 空欄は0を示す。

3 東京都大気汚染緊急時対策実施要綱（オキシダント）等

(1) 東京都大気汚染緊急時対策実施要綱（オキシダント）

(目的)

第1 この要綱は、大気汚染防止法（昭和43年法律第97号。以下「法」という。）第23条及び都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（平成12年東京都条例第215号。以下「条例」という。）第146条から第148条の規定に基づき、オキシダントに係る緊急時（以下「緊急時」という。）における知事の措置並びにその他関連する必要な事項を定めることを目的とする。

(測定方法及び測定場所)

第2 緊急時に係るオキシダントの大気中における含有率は、大気汚染防止法施行規則（昭和46年厚生省・通商産業省令第1号）第18条に規定する測定方法により測定するものとし、別表1に掲げる測定場所（以下「基準測定点」という。）で行う。

(監視)

第3 緊急時に係る大気汚染状況の監視は、基準測定点における測定結果について毎時行う。

(気象情報等の収集)

第4 緊急時に係る必要な気象情報等は、基準測定点、気象庁及び関係県から収集する。

(緊急時の区分)

第5 緊急時は、光化学スモッグ予報、光化学スモッグ注意報、光化学スモッグ警報及び光化学スモッグ重大緊急報に区分し、その状況に応じ、発令及び解除を行う。

(緊急時の発令及び解除の基準)

第6 緊急時の発令及び解除は、別表2に定める基準により行う。

ただし、日の入後の緊急時の発令措置は行わない。また、日の入時刻を過ぎれば緊急時の措置を解除することができる。

(緊急時の地域及び基準測定点)

第7 緊急時の発令及び解除は、別表3に掲げる発令地域ごとに、基準測定点の測定結果に基づき行う。

(緊急時の発令及び解除の決定)

第8 発令及び解除の決定は、光化学スモッグ予報及び光化学スモッグ注意報については、環境改善部大気保全課長又は大気保全課長があらかじめ指定した環境改善部課長級職員が行い、光化学スモッグ警報及び光化学スモッグ重大緊急報については、環境改善部長が行う。

(協力工場等)

第9 緊急時において、燃料使用量の削減（これに準ずる措置を含む。以下同じ。）を行う工場・事業場（以下「燃料削減協力工場等」という。）は、原則として施設定格能力合計1時間当た

り 1 k L 以上（重油換算）の工場又は事業場とし、揮発性有機化合物の排出を抑制する工場・事業場（以下「VOC 抑制協力工場等」という。）は大気汚染防止法第 17 条の 4 挥発性有機化合物排出施設の設置の届出をしている工場又は事業場とする。

（緊急時の措置）

第10 緊急時においては、図 1 に掲げる手法により、図 1 に掲げる機関を通じて情報の周知を行うとともに、次の各号に掲げる措置を行う。

（1）都民に対する注意事項

光化学スモッグ注意報以上の緊急時においては、次の事項について都民に注意するよう周知する。

- ① 屋外になるべく出ないようにする。
- ② 屋外運動はさしひかえるようにする。
- ③ 光化学スモッグの被害を受けた人は、最寄りの保健所に連絡する。

（2）光化学スモッグ予報時における協力等

光化学スモッグ予報を発令したときは、別表 4 の協力地域内の燃料削減協力工場等に対し、燃料使用量の削減（これに準ずる措置を含む。以下同じ。）により、ばい煙の排出量を減少するよう自主的協力を求め、自動車等を使用する者に対し、不要不急の目的により自動車等を使用しないよう協力を求める。

（3）光化学スモッグ注意報時における勧告等

光化学スモッグ注意報を発令したときは、協力地域内の燃料削減協力工場等に対して、ばい煙の排出量の減少を図るために、燃料使用量を通常使用量の 20 パーセント程度削減するよう勧告するとともに、VOC 抑制協力工場等に対して、揮発性有機化合物の排出を抑制するよう自主的協力を求め、自動車等を使用する者に対し、当該地域を通過しないよう協力を求める。

（4）光化学スモッグ警報時における勧告等

光化学スモッグ警報を発令したときは、協力地域内の燃料削減協力工場等に対して、ばい煙の排出量の減少を図るために、燃料使用量を通常の使用量の 40 パーセント程度削減するよう勧告するとともに、VOC 抑制協力工場等に対して、揮発性有機化合物の排出量を削減するよう施設等の使用の制限を勧告し、自動車等を使用する者に対し、当該地域を通過しないよう協力を求める。

（5）光化学スモッグ重大緊急報時における命令等

光化学スモッグ重大緊急報を発令したときは、協力地域内の燃料削減協力工場等に対し、ばい煙の排出量の減少を図るために、燃料使用量を通常使用量の 40 パーセント以上削減するよう命令するとともに、VOC 抑制協力工場等に対して、揮発性有機化合物の排出量を削減するよう施設等の使用の制限を命令する。なお、自動車等を使用する者に対しては、東京都公安委員会に道路交通法の規定による措置をとるべきことを要請する。

(削減計画及び削減報告)

第11 第10の規定による措置を行うに当たっては、燃料削減協力工場等に対して燃料使用量の削減計画を、VOC抑制協力工場等に対しては揮発性有機化合物の排出を抑制する措置方法の提出を求める。また、緊急時の発令日毎に、協力地域内の燃料削減協力工場等が実施した燃料使用量の削減等について、VOC抑制協力工場等が実施した揮発性有機化合物の排出の抑制措置等についてファクシミリ等により措置状況の報告を求める。

(光化学スモッグ学校情報)

第12 児童、生徒の被害を未然に防止するため、関係区市町村等に対して次に掲げる基準により、光化学スモッグ学校情報を提供する。

(1) 提供基準

基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が100万分の0.1以上である状態になり、気象条件からみてその状態が継続又は悪化すると認められるとき。

(2) 解除基準

上記の情報提供後基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が100万分の0.1未満になることが気象条件から見て明らかであるとき。

(情報の周知及び提供方法)

第13 第10及び第12に定めるもののほか、インターネット、電子メール、テレホンサービス及びファクシミリ等の電気通信設備により情報の周知及び提供を行う。

(被害発生時の調査)

第14 被害の発生時、必要な場合においては、発生地域周辺の状況調査を行う。

(区市等への協力要請)

第15 第10に規定する緊急時の措置等を行うに当たっては、関係区市町村等に対し、必要な協力を求める。

(国及び関係県との相互協力)

第16 この要綱の実施に当たっては、国及び関係県と連絡を緊密にして、適正な運用を図る。

附 則

この要綱は、昭和47年4月15日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和47年8月28日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和48年4月2日から実施する。ただし、基準測定点のうち、渋谷、中野、府中、調布及び小平については、昭和48年6月1日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和49年9月9日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和49年11月5日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和49年12月5日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和50年9月1日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和51年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和51年6月14日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和53年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和56年3月1日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和59年11月15日から実施する。

附 則

この要綱は、平成4年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成5年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成7年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成8年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成9年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成10年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成11年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成12年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から実施する。

ただし、都からの情報を受けて各区市町村が実情に応じて行う大気汚染緊急時の周知（光化学スモッグ学校情報を含む。）については、平成14年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成15年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成16年9月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成22年12月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、令和6年4月1日から実施する。

別表1 基準測定点

名 称	場 所	所 在 地
千代田区神田司町	千代田区神田公園出張所	千代田区神田司町 2-2
中央区晴海	都有地	中央区晴海 3-6-1
港区高輪	都有地	港区高輪 1-6
港区台場	港区立お台場レインボーパー公園内	港区台場 1-3-1
国設東京新宿	新宿御苑	新宿区内藤町 1 1
文京区本駒込	文京区勤労福祉会館	文京区本駒込 4-3 5-1 5
江東区大島	東京都江東合同庁舎	江東区大島 3-1-3
品川区豊町	品川区立戸越小学校	品川区豊町 2-1-2 0
品川区八潮	品川区立八潮学園	品川区八潮 5-1 1-2
目黒区碑文谷	目黒区立第八中学校	目黒区碑文谷 4-1 9-2 5
大田区東糀谷	大田区糀谷・羽田地域庁舎	大田区東糀谷 1-2 1-1 5
世田谷区世田谷	世田谷区役所	世田谷区世田谷 4-2 1-2 7
渋谷区宇田川町	渋谷区立神南小学校	渋谷区宇田川町 5-1
中野区若宮	都立鷺宮高等学校	中野区若宮 3-4 6-8
杉並区久我山	杉並区土木部資材置場	杉並区久我山 5-3 6-1 7
荒川区南千住	荒川区立第六瑞光小学校	荒川区南千住 1-4-1 1
板橋区氷川町	板橋区立板橋第一小学校	板橋区氷川町 1 3-1
練馬区石神井町	都立石神井公園内	練馬区石神井町 5-2 1 地先
練馬区北町	練馬区立北町小学校	練馬区北町 1-1 4-1 1
足立区西新井	足立区立西新井第一小学校	足立区西新井 6-2 1-3
葛飾区鎌倉	都有地	葛飾区鎌倉 2-2 1-4
江戸川区鹿骨	東京都農林総合研究センター江戸川分場	江戸川区鹿骨 1-1 5-1
江戸川区春江町	江戸川区立二之江中学校	江戸川区春江町 5-3-3
江戸川区南葛西	都立葛西南高等学校	江戸川区南葛西 1-1 1-1
八王子市片倉町	八王子市立由井中学校	八王子市片倉町 5 5 3
八王子市館町	館ヶ丘団地中継ポンプ場	八王子市館町 1 0 9 7-6 6
立川市泉町	立川市役所	立川市泉町 1 1 5 6-9
武蔵野市関前	武蔵野市立第五小学校	武蔵野市関前 3-2-2 0
青梅市東青梅	青梅市役所	青梅市東青梅 1-1 1-1
府中市四谷	府中市有地	府中市四谷 4-1 6-4
調布市深大寺南町	都立農業高等学校神代農場	調布市深大寺南町 4-1 6-2 3
町田市金森	町田金森一丁目アパート	町田市金森 1-2 2
町田市能ヶ谷	町田市立鶴川第二小学校	町田市能ヶ谷 7-2 4-1
小金井市東町	小金井市野川クリーンセンター	小金井市東町 1-7-1 9
小平市小川町	小平市立中央公民館	小平市小川町 2-1 3 2 5
福生市本町	福生市役所	福生市本町 5
狛江市中和泉	狛江市有地	狛江市中和泉 3-4-1 0
東大和市奈良橋	東大和市立第一小学校	東大和市奈良橋 4-5 7 3
清瀬市上清戸	清瀬市郷土博物館	清瀬市上清戸 2-6-4 1
多摩市愛宕	多摩市有地	多摩市愛宕 1-6 5-1
西東京市南町	西東京市役所田無庁舎	西東京市南町 5-6-1 3

別表2 緊急時の発令及び解除の基準

区分	発 令 の 基 準	解 除 の 基 準
光 化 学 ス モ ッ グ予 報	<p>次のいずれかに該当する状態が発生したとき。</p> <p>1 気象条件から見て、下三欄に規定する状態が発生することが予想されるとき。</p> <p>2 オキシダントの大気含有率（容量比の1時間値とする。以下同じ。）が、下三欄に掲げる状態に近く、かつ、当該状態がさらに悪化することが予想されるとき。</p>	<p>次のいずれかに該当するとき。</p> <p>1 左に掲げる状態がないと認められるとき。</p> <p>2 左の下三欄に規定する緊急時の発令を行ったとき。</p>
光 化 学 ス モ ッ シ注 グ意 報	基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が、100万分の0.12以上である状態になり、気象条件からみて、その状態が継続すると認められるとき。	発令地域（第7の緊急時の発令を行っている地域の範囲をいう。以下同じ。）内の全ての基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が100万分の0.12未満となり、気象条件からみて、その状態が悪化するおそれがなくなったと認められるとき。
光 化 学 ス モ ッ 警 報	基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が、100万分の0.24以上である状態になり、気象条件からみて、その状態が継続すると認められるとき。	発令地域内の全ての基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が100万分の0.24未満であって、気象条件からみて、その状態が悪化するおそれがなくなったと認められるとき。
光 化 学重 ス大 モ緊 ッ急 グ報	基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が、100万分の0.4以上である状態になり、気象条件からみて、その状態が継続すると認められるとき。	発令地域内の全ての基準測定点において、オキシダントの大気中における含有率が100万分の0.4未満であって、気象条件からみて、その状態が悪化するおそれがなくなったと認められるとき。

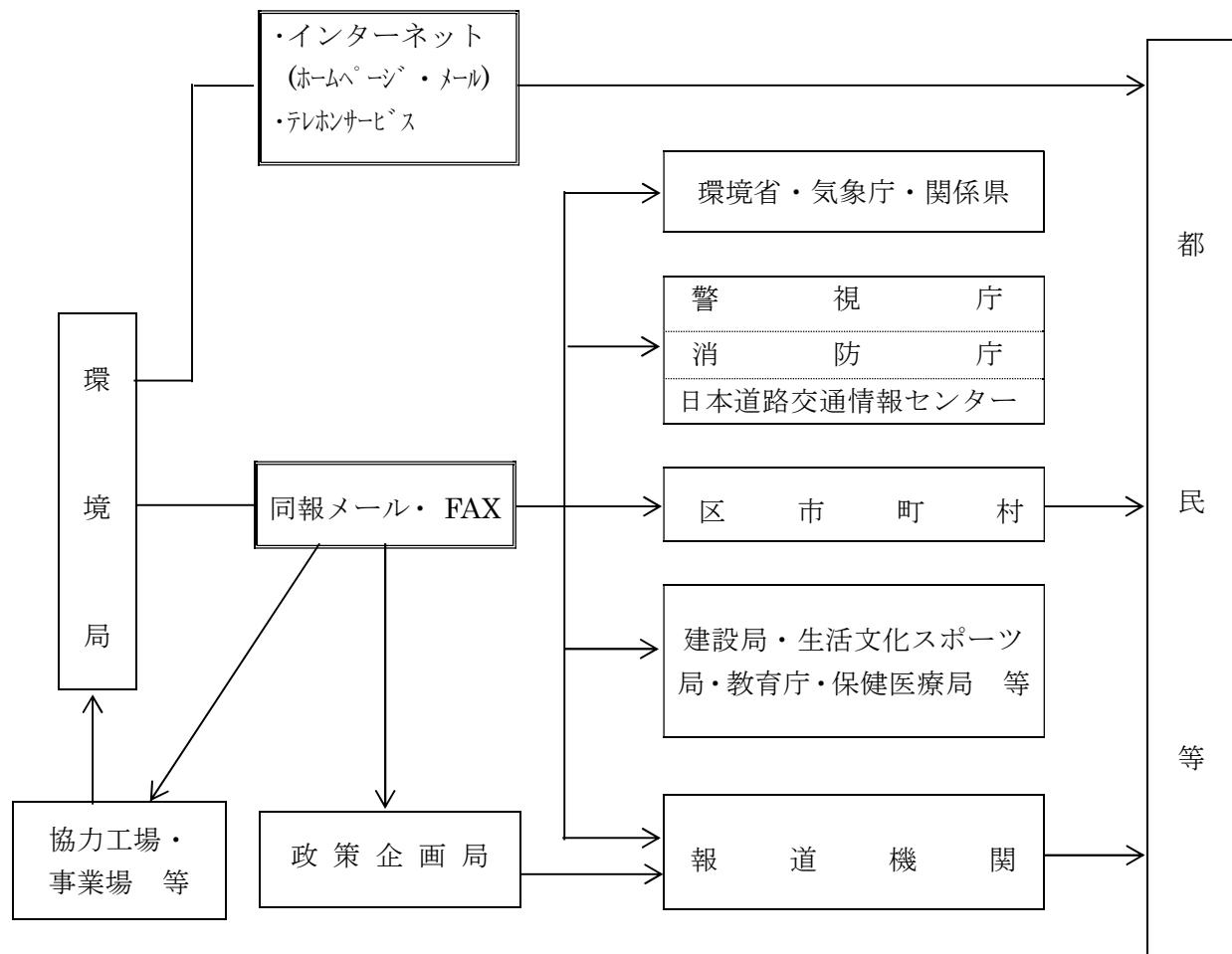
別表3 緊急時の地域及び基準測定点

発令地域	基 準 測 定 点	発 令 地 域 の 範 囲
区東部	千代田区神田司町 江東区大島 中央区晴海 江戸川区鹿骨 港区高輪 江戸川区春江町 港区台場 江戸川区南葛西	千代田区、中央区、港区、江東区、江戸川区
区北部	荒川区南千住 葛飾区鎌倉 足立区西新井	台東区、墨田区、荒川区、足立区、葛飾区
区西部	国設東京新宿 板橋区氷川町 文京区本駒込 練馬区石神井町 中野区若宮 練馬区北町 杉並区久我山	新宿区、文京区、中野区、杉並区、豊島区、 北区、板橋区、練馬区
区南部	品川区豊町 大田区東糀谷 品川区八潮 世田谷区世田谷 目黒区碑文谷 渋谷区宇田川町	品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区
多摩北部	武藏野市関前 東大和市奈良橋 小平市小川町 清瀬市上清戸 西東京市南町	武藏野市、小平市、東村山市、東大和市、 清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、西東京市
多摩中部	立川市泉町 小金井市東町 府中市四谷 猪江市中和泉 調布市深大寺南町	立川市、三鷹市、府中市、昭島市、調布市、 小金井市、国分寺市、国立市、猪江市
多摩西部	青梅市東青梅 福生市本町	青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、 瑞穂町、日の出町、奥多摩町、檜原村
多摩南部	八王子市片倉町 町田市能ヶ谷 八王子市館町 多摩市愛宕 町田市金森	八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市

別表4 協力地域

協力地域	発令地域	協 力 地 域 の 範 囲
東 部	区 東 部	千代田区、中央区、港区、江東区、江戸川区
	区 北 部	台東区、墨田区、荒川区、足立区、葛飾区
中 部	区 西 部	新宿区、文京区、中野区、杉並区、豊島区、北区、板橋区、練馬区
	区 南 部	品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区
西 部	多摩北部	武藏野市、小平市、東村山市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、西東京市
	多摩中部	立川市、三鷹市、府中市、昭島市、調布市、小金井市、国分寺市、国立市、狛江市
	多摩西部	青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町 日の出町、奥多摩町、檜原村
多摩南部	多摩南部	八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市

図1 光化学スモッグ緊急時連絡体制



(2) 光化学スモッグ緊急時対策実施要綱改正経緯

実施月日	措置要綱	段階	オゾン濃度	基準測定点	発令地域	備考
1970. 7. 27	東京都光化学 スモッグ対策 暫定実施要綱	緊急時第一段階 (光化学スモッグ注意報) 緊急時第二段階 (光化学スモッグ警報)	0.15ppm以上 0.30ppm以上	4か所	3地域	4基準測定点 都庁前、城東、衛研、世田谷
1970. 8. 10		光化学スモッグ予報(前日のみ)			全域	
1972. 4. 15	東京都大気汚染緊急時対策 実施要綱 (オゾン)	光化学スモッグ予報(前日、当日) 光化学スモッグ注意報 光化学スモッグ警報 光化学スモッグ重大緊急報	0.15ppm以上 0.30ppm以上 0.50ppm以上	14か所	全域 4地域	10基準測定点追加 荒川、江戸川、糀谷、板橋、杉並、立川、田無、青梅、八王子、町田
1972. 8. 28	同上要綱			15か所		1基準測定点追加 石神井
1973. 4. 2	同上要綱			20か所		5基準測定点追加 6/1より 渋谷、中野、府中、小平、調布
1973. 5. 15	学校情報(予報の発令がないときのみ提供)		0.12ppm以上			
1974. 9. 9	同上要綱			28か所		8基準測定点追加 晴海、港、葛飾、島根、目黒、練馬北、久我山、福生
	学校情報(予報の有無にかかわらず提供)					
1974. 11. 5	同上要綱					基準測定点移設 城東
1974. 12. 5	同上要綱					基準測定点名称変更 島根→足立
1975. 9. 1	同上要綱			36か所		8基準測定点追加 文京、品川、狛江、武蔵野、小金井、清瀬、東大和、多摩
1976. 3. 31	学校情報(廃止、要綱内に組み入れ)				4地域	条文の整理
1976. 4. 1	同上要綱	同上 学校情報	0.12ppm以上			被害発生時の初動調査及び学校情報追加
1976. 6. 14	同上要綱					基準測定点移設 城東
1978. 4. 1	同上要綱	光化学スモッグ注意報 光化学スモッグ警報 光化学スモッグ重大緊急報 学校情報	0.12ppm以上 0.24ppm以上 0.40ppm以上 0.10ppm以上			発令基準等の変更 オキシダントの測定方法の変更
1981. 3. 1	同上要綱	同上 光化学スモッグ学校情報 (名称の変更)				基準測定点移設 調布 基準測定点名称変更 衛研→国設東京
1984. 11. 15	同上要綱	光化学スモッグ予報			4地域	条文等の整理
1992. 4. 1	同上要綱					基準測定点名称変更 協力工場等の選定基準明文化
1993. 4. 1	同上要綱			41か所		5基準測定点の追加 江戸川区春江町、江戸川区南葛西、品川区八潮、八王子市片倉、町田市能ヶ谷町
1995. 4. 1	同上要綱			42か所		基準測定点追加 江東区有明 名称変更 大田区東糀谷
1996. 4. 1	同上要綱					基準測定点変更 荒川区南千住
1997. 4. 1	同上要綱					基準測定点廃止八王子市明神町 基準測定点追加八王子市館町
1998. 4. 1	同上要綱			41か所	8地域に 変更	基準測定点廃止 杉並 連絡方法をFAXに変更
1999. 4. 1	同上要綱					3基準測定点変更千代田区神田司町、港区台場、足立区西新井
2000. 4. 1	同上要綱					基準測定点変更 清瀬市上清戸
2001. 4. 1	同上要綱					名称変更 西東京市田無町 条例の変更 環境確保条例 周知方法、措置状況報告の変更
2003. 4. 1	同上要綱					名称変更 環境改善部 健康局 発令解除決定者の区分の変更
2004. 9. 1	同上要綱					名称変更 福祉保健局 知事本局 国設東京新宿 八王子市片倉町
2007. 4. 1	同上要綱					VOC協力工場追加
2008. 4. 1	同上要綱					板橋区氷川町移設
2009. 4. 1	同上要綱					練馬区石神井町、文京区本駒込移設
2010. 4. 1	同上要綱					中野区若宮移設
2010. 12. 1	同上要綱					立川市泉町、板橋区本町移設
2011. 4. 1	同上要綱					名称変更 町田市能ヶ谷 港区高輪移設
2013. 2. 21	同上要綱					町田市金森移設
2014. 4. 1	同上要綱					中野区若宮移設
2016. 4. 1	同上要綱					渋谷区宇田川町、板橋区氷川町移設
2020. 4. 1	同上要綱					西東京市南町移設
2021. 4. 1	同上要綱					府中市四谷移設
2023. 4. 1	同上要綱					小金井市東町移設
2024. 4. 1	同上要綱					名称変更 保健医療局 情報提供方法の変更

2025年1月 発行

令和6年度
登録第74号

環境資料第36050号

2024(令和6)年の光化学スモッグの発生状況

編集・発行 東京都環境局環境改善部大気保全課

所 在 地 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03(5388)3483

印 刷 株式会社 謄栄社

所 在 地 東京都千代田区神田猿楽町二丁目2番12号



リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

R70

古紙/パレフ配合率70%再生紙を使用しています